

決め手は、
青森県産。



青森県の畜産

平成31年3月



県基幹種雄牛「広清」

目 次

■ 第1章 農業の概要

- 1 青森県の自然……………1
- 2 農林水産業の動向……………2
- 3 農業産出額……………4

■ 第2章 畜産の概要

- 1 畜産産出額……………5
- 2 主要家畜の頭羽数……………5

■ 第3章 家畜飼養動向

- 1 乳用牛……………6
- 2 肉用牛……………8
- 3 豚……………10
- 4 採卵鶏……………12
- 5 ブロイラー……………13
- 6 その他……………14

■ 第4章 畜産物の流通と価格

- 1 牛乳……………15
- 2 肉用牛……………17
- 3 豚……………19
- 4 鶏卵……………21
- 5 ブロイラー……………23
- 6 畜産物支出金額、購入数量……………24

■ 第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1 生乳……………25
- 2 肉用牛……………26
- 3 豚……………28

■ 第6章 草地と飼料

- 1 自給飼料の生産……………29
- 2 草地面積……………30
- 3 配合飼料の生産……………31
- 4 青森県飼料作物奨励品種……………32

■ 第7章 家畜衛生

- 1 家畜防疫事業の推移……………33
- 2 監視伝染病発生状況……………34

■ 第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況……………35

■ 第9章 参考資料

- 1 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標……………36
- 2 青森県養豚・養鶏振興プランの目標……………37
- 3 畜産行政組織の概要……………39
- 4 試験研究機関……………40
- 5 行政区域・各機関所在地……………40
- 6 畜産関係機関・団体……………41
- 7 畜産関係施設……………42
- 8 県内の特徴的な動き……………43
- 9 県基幹種雄牛……………45

第1章 農業の概要

1 青森県の自然

〔位置〕

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相対し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北新幹線）では約710kmで、時間距離は自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、鉄道では最短で約3時間、飛行機では約1時間15分となっている。

〔面積〕

本県の面積は、全国第8位の約9,646km²で全国の約3%を占めているが、人口密度は約135.6人/km²で全国41位となっており、1人当たりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

〔地形〕

県の中央部の奥羽山脈を境として、日本海側の津軽地方では、奥羽山脈の延長にある山地と出羽山地の延長にある山地によって囲まれた広大な沖積平野である、肥沃な津軽平野が岩木川流域に広がっている。

また、奥羽山脈の北端には、青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、北上山地から続く火山灰土におおわれた台地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

西の津軽半島と東の下北半島はそれぞれ北に延び、両半島の真ん中に陸奥湾が存在する。

〔気候〕

夏が短く冬が長い冷涼な気候で、四季がはっきりしている。夏季は、津軽地方は比較的気温が高く温暖な日が多いが、県南地方では春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では雪の日が多く多雪となるが、県南地方は冷え込みが厳しいものの、晴天の日が多く雪は少ない。

青森の地質区分



本県の面積 9,646km² (全国第8位)

本県の海岸線総延長 796.6km (全国第13位)

資料：図説 農林水産業の動向（平成30年10月版）（青森県農林水産部）

2 農林水産業の動向

本県農林水産業の地位

～全国より高い第1次産業純生産割合～

県内純生産に占める第1次産業の割合（平成27年）は4.2%、全産業の就業人口に占める第1次産業の割合（平成27年）は12.3%と、それぞれ全国平均の1.0%、4.0%に比べ高い水準となっている（図1、図2、図3）。

また、平成23年の産業連関表からみると、県全体の総移輸出額に占める第1次産業の割合は10.4%、農水産物の供給先である製造業（食料品）が11.9%で、第1次産業生産が県経済に及ぼす影響は依然として大きく、農林水産業は本県の基幹産業として位置付けられる（図4）。

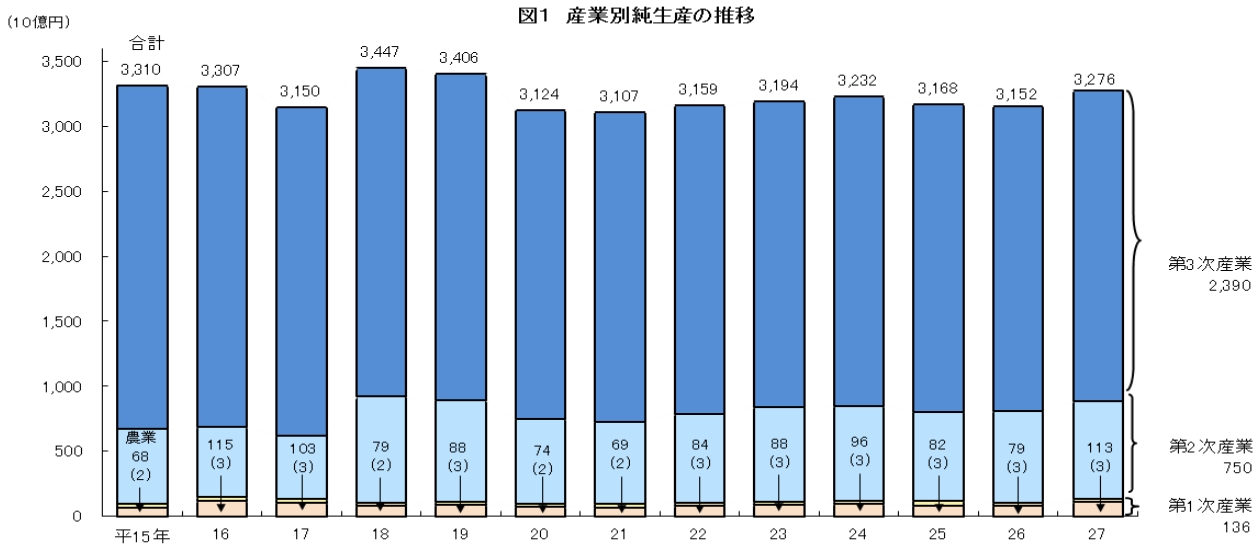


図2 産業別純生産構成割合(平成27年)

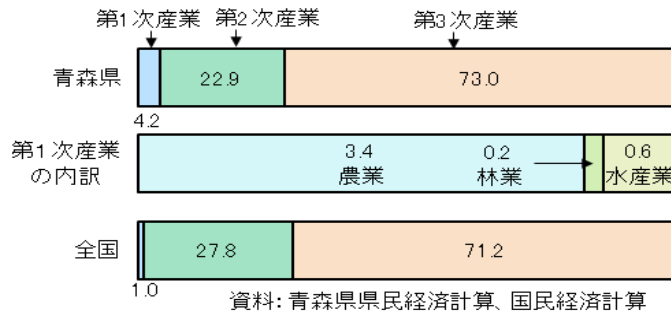


図4 部門別移輸出額割合(平成23年)

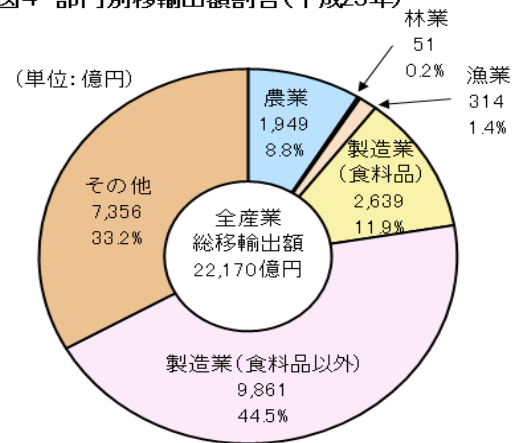
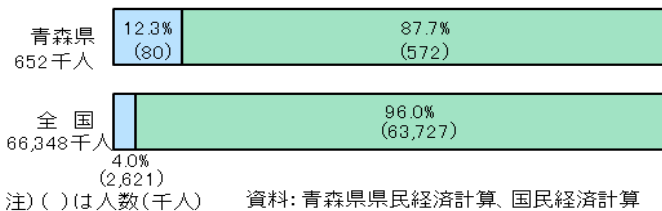


図3 就業人口に占める第1次産業就業人口の割合(平成27年)



資料: 図説 農林水産業の動向 (平成30年10月版) (青森県農林水産部)

主要指標

～農業産出額は全国7位～

全国に占める本県農業の地位を農業産出額で見ると、平成28年の全国順位は7位で、品目別ではりんごが1位を占めるなど、全国的にみても主要な農業県となっている。

区分	単位	年次	青森県	東北	全国	青森 /東北	青森 /全国	東北 順位	全国 順位
総農家戸数	家戸	27	44,781	333,840	2,155,082	13.4	2.1	6	22
販売農家戸数	家戸	27	34,866	240,088	1,329,591	14.5	2.6	5	17
専業農家戸数	家戸	27	13,309	62,123	442,805	21.4	3.0	1	9
一兼業農家戸数	家戸	27	7,341	37,242	164,790	19.7	4.5	1	1
二兼業農家戸数	家戸	27	14,216	140,723	721,996	10.1	2.0	6	21
主業農家戸数	家戸	27	13,371	54,608	293,928	24.5	4.5	1	3
準主業農家戸数	家戸	27	6,953	59,626	257,041	11.7	2.7	6	13
副業的農家戸数	家戸	27	14,542	125,854	778,622	11.6	1.9	6	27
販売農家の世帯員数	人	27	130,834	948,892	4,880,368	13.8	2.7	6	16
農林業経営体数	経営体	27	36,478	251,519	1,404,488	14.5	2.6	5	17
農業経営体数	経営体	27	35,914	247,713	1,377,266	14.5	2.6	5	18
家族経営体数	経営体	27	35,093	241,607	1,344,287	14.5	2.6	5	17
林業経営体数	経営体	27	2,059	15,175	87,284	13.6	2.4	4	16
農業就業人口	人	27	64,746	375,640	2,096,662	17.2	3.1	3	9
平均年齢	歳	27	63.8	66.2	66.4	—	—	(若さ)1	(若さ)2
基幹的農業従事者数	人	27	58,222	314,957	1,753,764	18.5	3.3	3	9
耕地面積	ha	29	151,500	838,100	4,444,000	18.1	3.4	1	4
田	ha	29	80,000	602,800	2,418,000	13.3	3.3	6	10
畑	ha	29	71,500	235,300	2,026,000	30.4	3.5	1	3
耕地利用率	%	28	82.1	83.7	91.7	—	—	5	39
水稲収穫量	t	29	258,700	2,115,000	7,822,000	12.2	3.3	6	11
りんご収穫量	t	29	415,900	556,200	735,200	74.8	56.6	1	1
乳用牛飼養頭数	頭	29	11,100	100,300	1,323,000	11.1	0.8	4	19
肉用牛飼養頭数	頭	29	55,400	336,700	2,499,000	16.5	2.2	3	11
野菜栽培延べ面積	ha	28	16,400	63,700	521,300	25.7	3.1	1	9
農業産出額	億円	28	3,221	13,855	93,051	23.2	3.5	1	7
米	億円	28	466	4,129	16,579	11.3	2.8	6	11
野菜	億円	28	863	2,619	25,567	33.0	3.4	1	10
果実	億円	28	854	2,022	8,333	42.2	10.2	1	1
うちりんご	億円	28	811	—	—	—	—	1	1
畜産	億円	28	918	4,494	32,424	20.4	2.8	2	10
生産農業所得	億円	28	1,558	6,032	38,149	25.8	4.1	1	5
食料自給率(カロリーベース)	%	28	120	106	38	113.2	315.8	3	4
食料自給率(生産額ベース)	%	28	257	—	67	—	383.6	1	3
農家総所得	千円	27	4,281	4,264	4,960	100.4	86.3	3	—
農家所得①	千円	27	2,617	2,668	3,014	98.1	86.8	6	—
農業所得②	千円	27	2,126	1,431	1,527	148.6	139.2	1	—
農業生産関連事業所得	千円	27	1	50	15	2.0	6.7	6	—
農外所得	千円	27	490	1,187	1,472	41.3	33.3	7	—
農業依存度②/①	%	27	81.2	53.6	50.7	151.4	160.2	1	—

資料: 図説 農林水産業の動向(平成30年10月版)(青森県農林水産部)

3 農業産出額

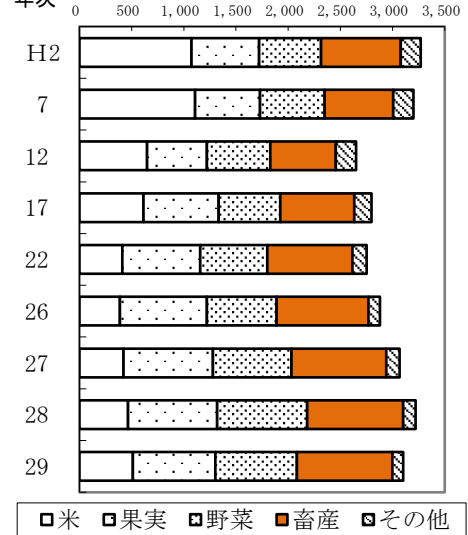
農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて算出したものである。

（単位：億円）

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
H2	3,270	1,074	647	593	766	190
7	3,200	1,109	621	619	656	195
12	2,649	647	573	608	628	193
17	2,797	613	722	589	710	163
22	2,751	410	746	643	818	134
26	2,879	388	833	668	880	110
27	3,068	422	857	751	910	128
28	3,221	466	854	863	918	120
29	3,103	513	790	780	915	105

年次 (単位：億円)



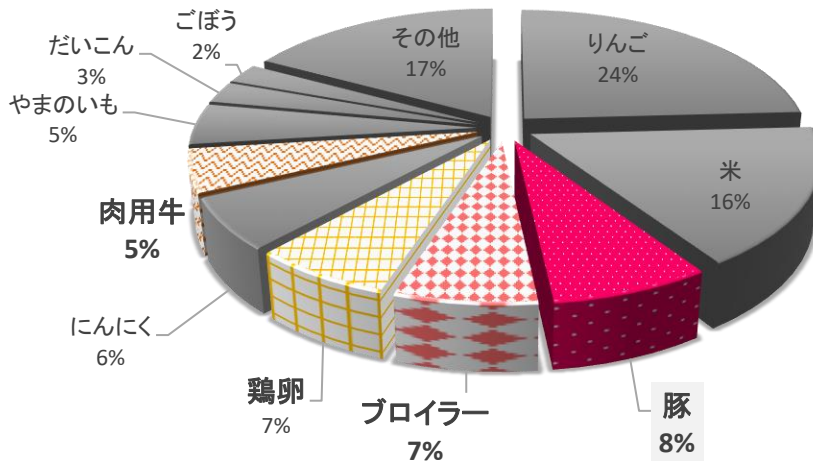
資料：生産農業所得統計

県内産出額上位10品目（平成29年次）

（単位：億円）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	ブロイラー	鶏卵	にんにく	肉用牛	やまのいも	だいこん	ごぼう
産出額	749	513	236	211	208	190	159	153	81	74

資料：生産農業所得統計



第2章 畜産の概要

1 畜産産出額

平成29年の畜産産出額は、前年に比べて0.3%減の915億円となっており、畜種別では鶏429億円（対前年比2.9%増）、豚236億円（対前年比2.5%減）、肉用牛159億円（対前年比4.2%減）、乳用牛78億円（前年と同額）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛		肉用牛	豚	鶏			その他
		生乳				鶏卵	ブロイラー		
S55	586	107	80	52	186	220	174	-	24
60	623	105	85	67	194	239	156	-	19
H2	766	103	83	97	255	283	142	-	28
7	649	97	78	72	216	257	131	-	6
12	627	78	71	75	185	282	137	-	8
17	710	73	68	81	223	324	147	153	10
22	818	72	69	120	258	357	169	182	12
26	880	76	69	143	260	387	181	201	14
27	910	78	69	146	258	412	195	210	16
28	918	78	67	166	242	417	198	210	15
29	915	78	66	159	236	429	208	211	13

※ 平成12年以前は、ブロイラーの産出額の調査は行っていない。

資料：生産農業所得統計

2 主要家畜の頭羽数

(1) 飼養戸数、頭羽数（平成30年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

乳用牛				肉用牛				豚		採卵鶏		ブロイラー	
飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数 成鶏めす	飼養戸数	飼養羽数
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種	乳用種						
187	11,300	8,270	3,040	886	55,900	27,600	28,300	79	359,500	28	5,714	67	7,018

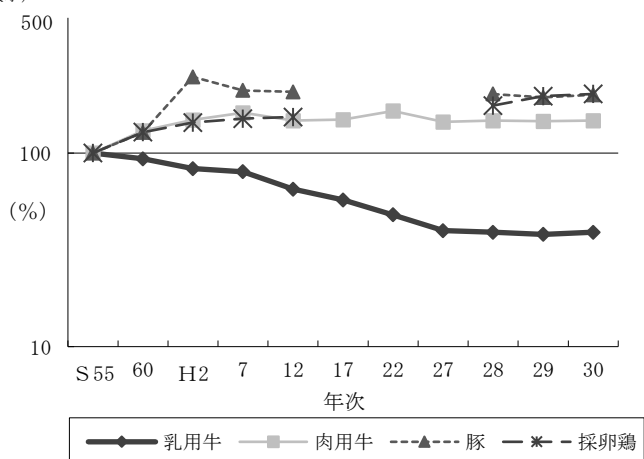
資料：畜産統計

(2) 家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較すると、豚（200%）、採卵鶏（202%）、肉用牛（147%）は伸びており、乳用牛（39%）は減少している。

（単位：%）（対数表示）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
S55	100	100	100	100
60	93	130	128	128
H2	83	148	248	144
7	80	161	211	151
12	65	147	207	154
17	57	149		
22	48	165		
27	40	145		
28	39	147	202	176
29	38	146	194	197
30	39	147	200	202



資料：畜産統計・食鳥流通統計

※平成17年、22年、27年は農業センサス実施年のため豚及び採卵鶏の調査データなし

第3章 家畜飼養動向

1 乳用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は年々減少し、平成30年は前年より7戸減の187戸となった。飼養頭数は、前年に比べて1.8%増の11,300頭となっている。

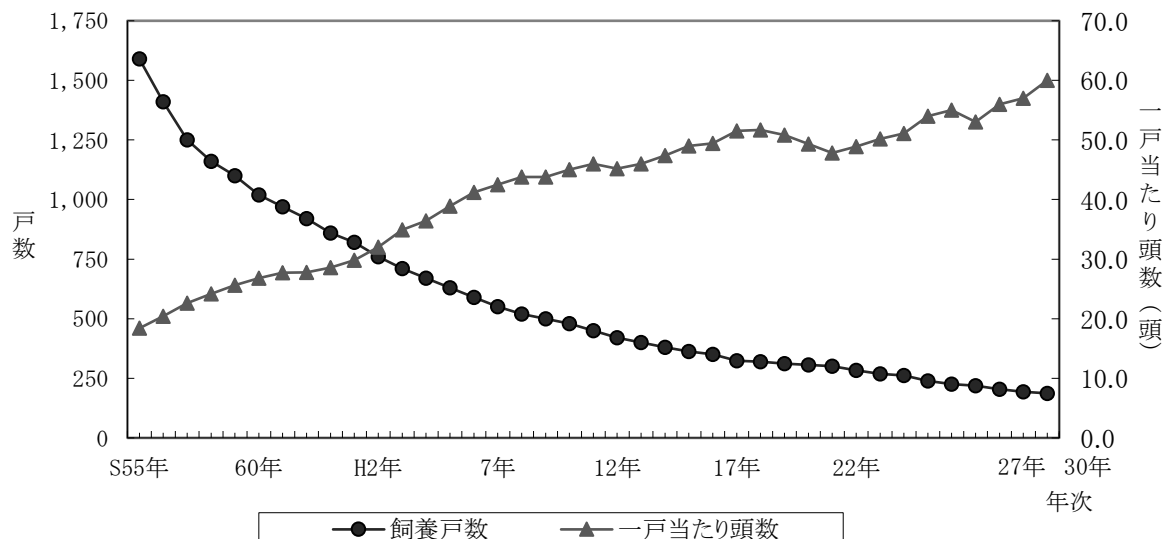
(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数 (順位)	飼養頭数(めす)							一戸当たり頭数 (順位)	
		合計 (順位)	2歳以上				2歳未満			
			計	経産牛						
				小計	搾乳牛	乾乳牛		未經産牛		
青森県	昭55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	27
	平2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	43
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	52
	22.2.1	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	49
26.2.1	青森	226	12,500	8,740	8,480	7,460	1,030	260	3,720	55
	全国	18,600	1,395,000	957,800	893,400	772,500	121,000	64,400	436,800	75
27.2.1	青森	219	11,600	8,120	7,880	6,930	950	230	3,520	53
	全国	17,700	1,371,000	934,100	869,700	750,100	119,600	64,400	437,200	78
28.2.1	青森	204	11,500	8,180	7,950	6,940	1,010	240	3,300	56
	全国	17,000	1,345,000	936,700	871,000	751,700	119,300	65,800	408,300	79
29.2.1	青森	194	11,100	8,050	7,830	6,800	1,020	230	3,080	57
	全国	16,400	1,323,000	913,800	852,100	735,200	116,900	61,700	409,300	81
30.2.1	青森	187 (21)	11,300 (19)	8,270	8,050	7,000	1,050	230	3,040	60 (17)
	全国	15,700	1,328,000	906,900	847,200	731,100	116,100	59,700	421,100	85

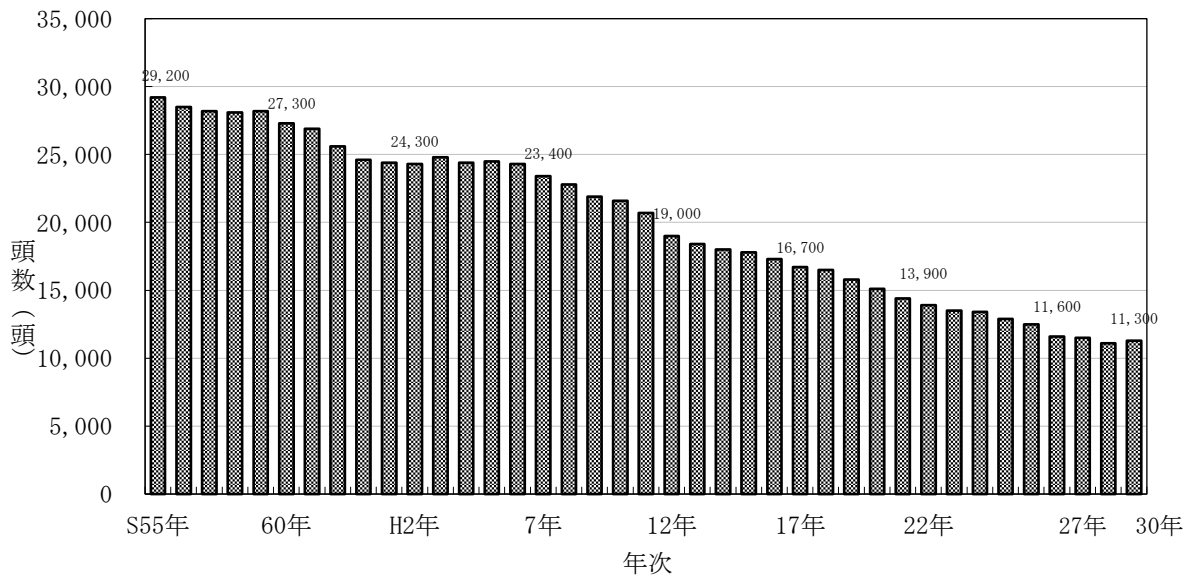
※ 順位は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

資料：畜産統計

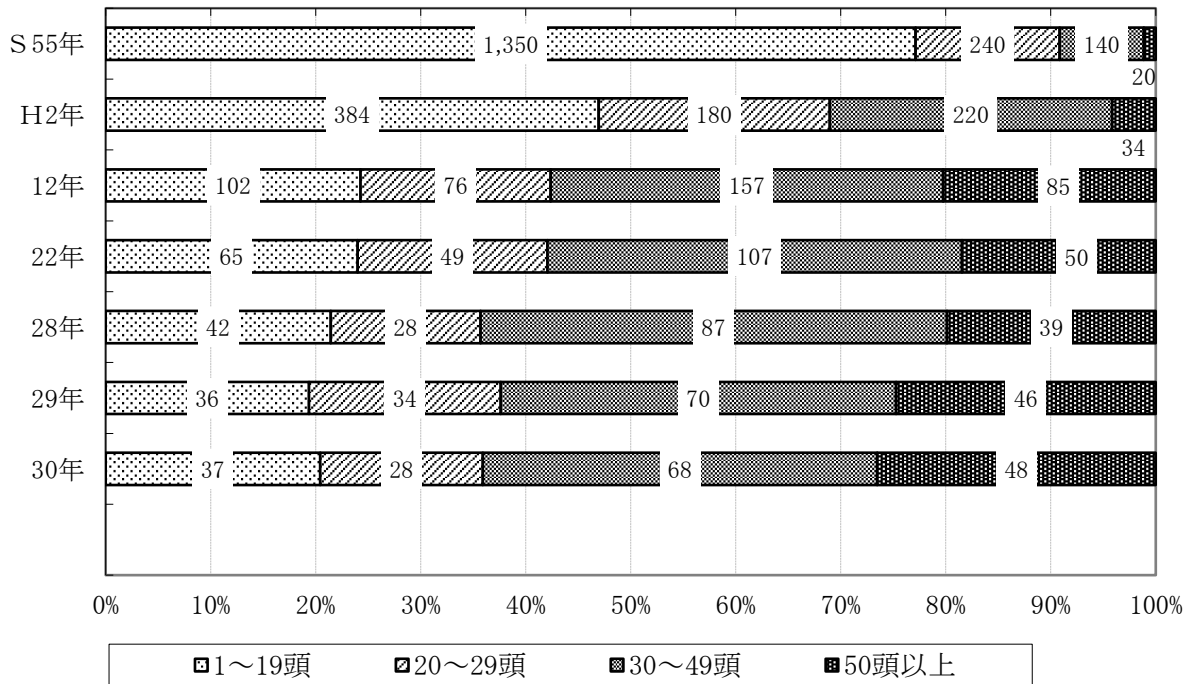
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



②飼養頭数の推移



(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

2 肉用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

平成30年の飼養戸数は前年より56戸減少し、886戸となった。飼養頭数は、前年に比べて0.9%増の55,900頭となり、肉用種繁殖めすは、前年に比べ2.5%増の12,300頭となった。

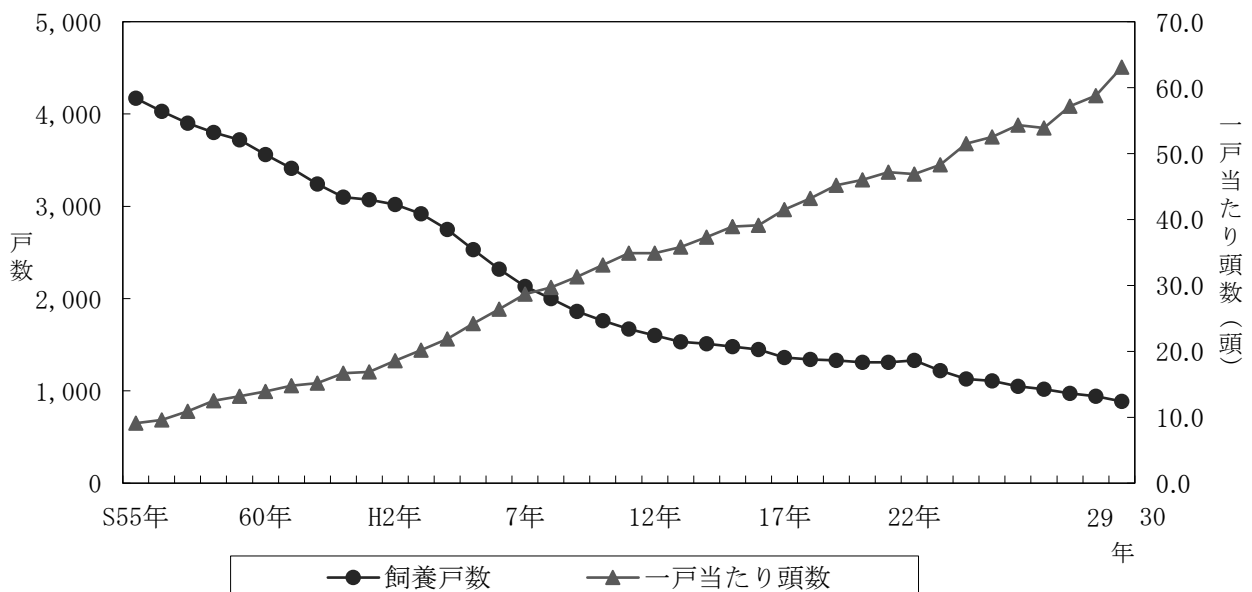
(単位:戸、頭)

区 分	飼養戸数 (順位)	飼 養 頭 数					一 戸 当 たり 頭 数 (順位)	
		計 (順位)	肉用種めす		肉用種おす	乳用種		
			うち繁殖めす					
青森県	S55.2.1	4,170	37,910	4,930		8,740	10,430	9
	60.2.1	3,560	49,400	5,800		9,460	19,500	14
	H 2.2.1	3,020	56,200	17,600		8,520	30,100	19
	7.2.1	2,130	61,200	17,800		13,700	29,600	29
	12.2.1	1,600	55,800	16,700	10,900	9,700	29,400	35
	17.2.1	1,360	56,500	16,200	10,400	9,110	31,200	42
	22.2.1	1,330	62,400	19,500	14,200	9,250	33,600	47
26.2.1	青森	1,050	57,000	17,300	12,500	7,440	32,200	54
	全国	57,500	2,567,000	1,104,000	595,200	611,700	851,400	45
27.2.1	青森	1,020	55,000	17,300	12,000	7,320	30,500	54
	全国	54,400	2,489,000	1,069,000	579,500	591,400	827,700	46
28.2.1	青森	973	55,700	16,700	11,300	7,690	31,400	57
	全国	51,900	2,479,000	1,054,000	588,100	588,600	837,100	48
29.2.1	青森	942	55,400	17,700	12,000	8,000	29,700	59
	全国	50,100	2,499,000	1,070,000	597,300	593,800	834,700	50
30.2.1	青森	886 (14)	55,900 (11)	18,700	12,300	8,880	28,300	63 (23)
	全国	48,300	2,514,000	1,091,000	610,400	610,100	813,000	52

※ 順位は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

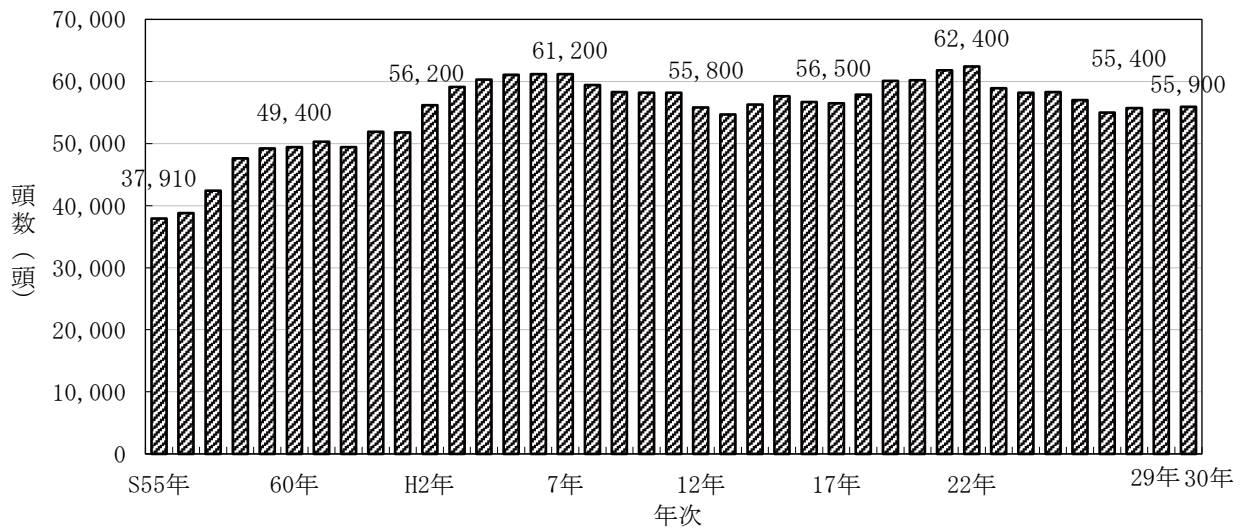
資料：畜産統計

①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



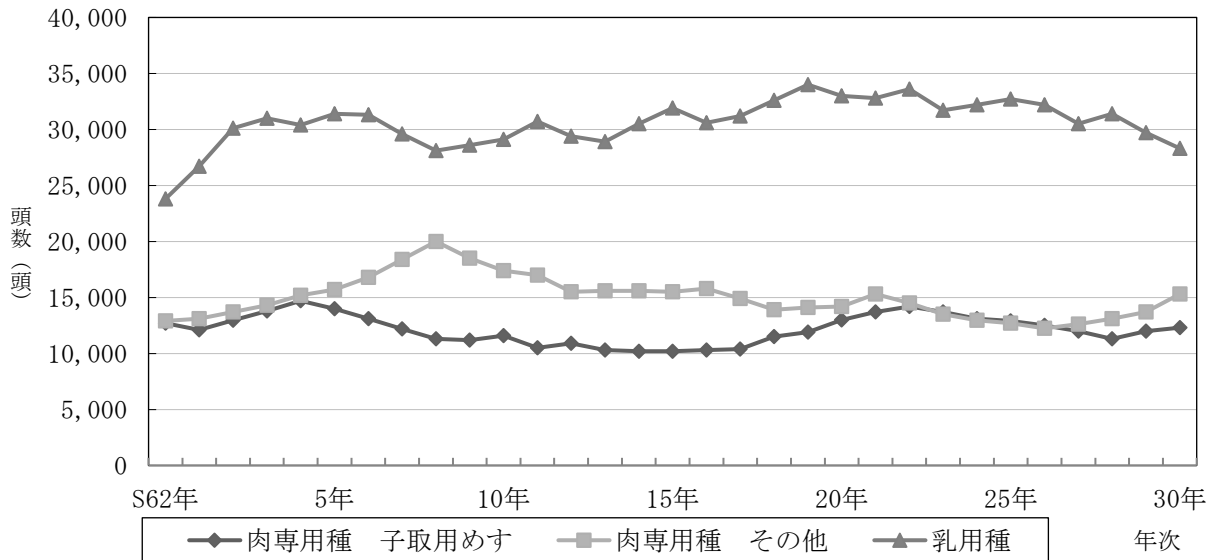
資料：畜産統計

②飼養頭数の推移



資料：畜産統計

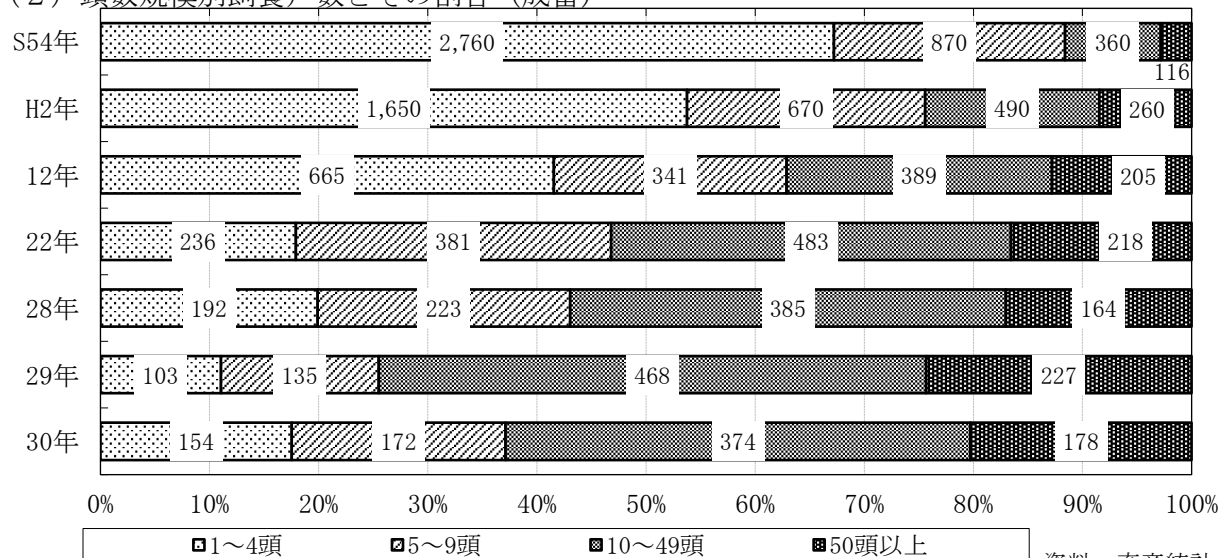
③品種別飼養頭数の推移



(※ 平成2年次、7年次はセンサス年で一部調査を中止しているため、前後年の中間値を用いた)

資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

3 豚

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は減少が続いており、平成30年は前年より3戸減少し79戸となった。飼養頭数は、前年に比べ3.1%増の359,500頭となった。また、一戸当たりの飼養頭数は年々増加傾向で推移し4,551頭となっている。

(単位:戸、頭)

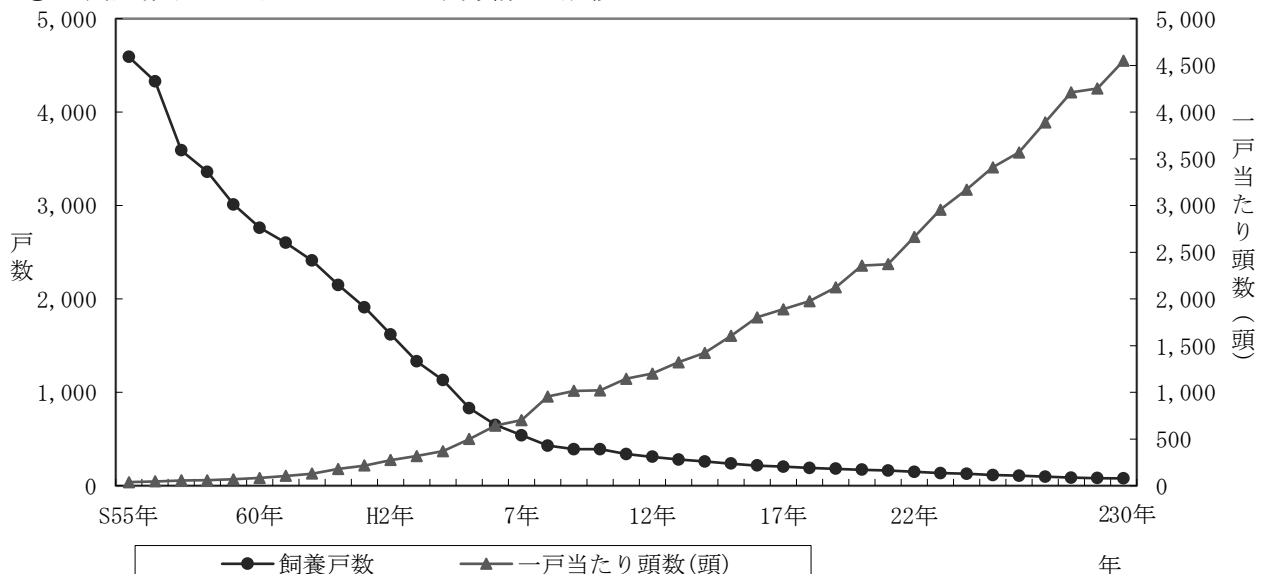
区分	飼養戸数		飼養頭数		一戸当たり頭数	
	(順位)	子取り用めす豚	(順位)	子取り用めす豚	(順位)	
青森県	S55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83
	H 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	275
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	701
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802
	21.2.1	163	142	386,600	34,000	2,372
25.2.1	青森	114	84	388,500	32,800	3,408
	全国	5,570	4,620	9,685,000	899,700	1,739
26.2.1	青森	107	75	381,800	31,600	3,568
	全国	5,270	4,290	9,537,000	885,300	1,810
28.2.1	青森	86	66	362,100	28,000	4,211
	全国	4,830	3,940	9,313,000	844,700	1,928
29.2.1	青森	82	58	348,800	30,300	4,254
	全国	4,670	3,800	9,346,000	839,300	2,001
30.2.1	青森	79 (19)	55	359,500 (9)	31,500	4,551 (1)
	全国	4,470	3,640	9,189,000	823,700	2,056

※平成17年、22年、27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

※順位は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

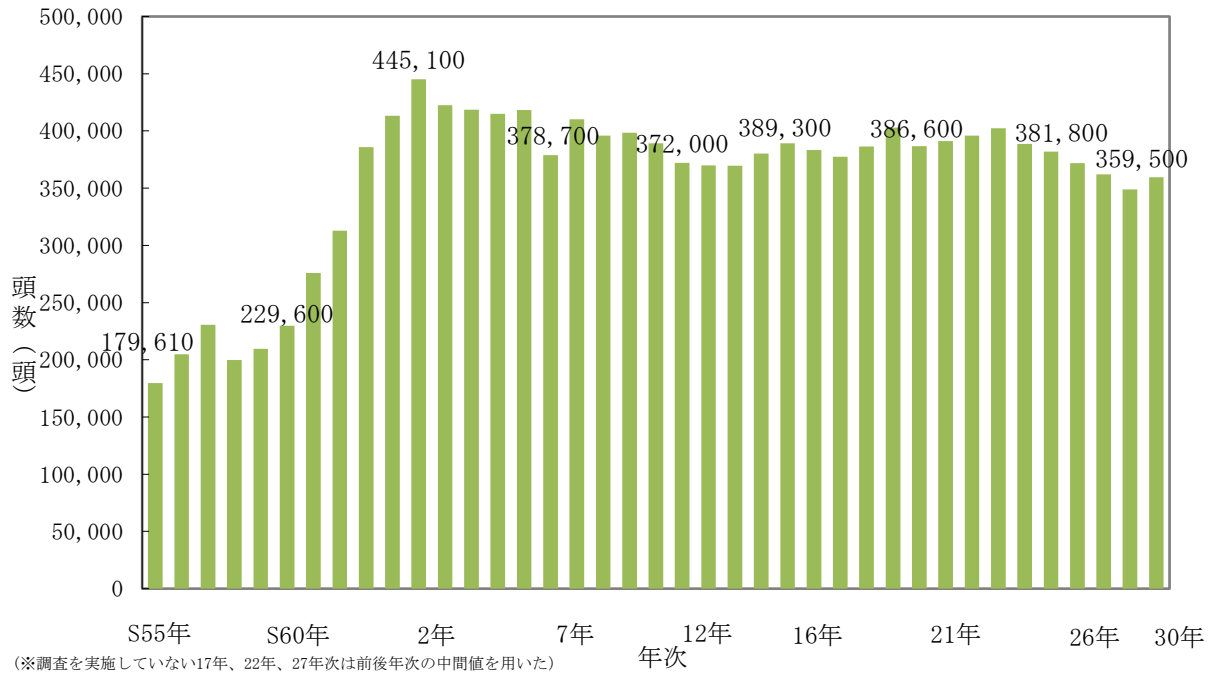
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



(※ 調査を実施していない17年、22年、27年次は前後年の中間値を用いた)

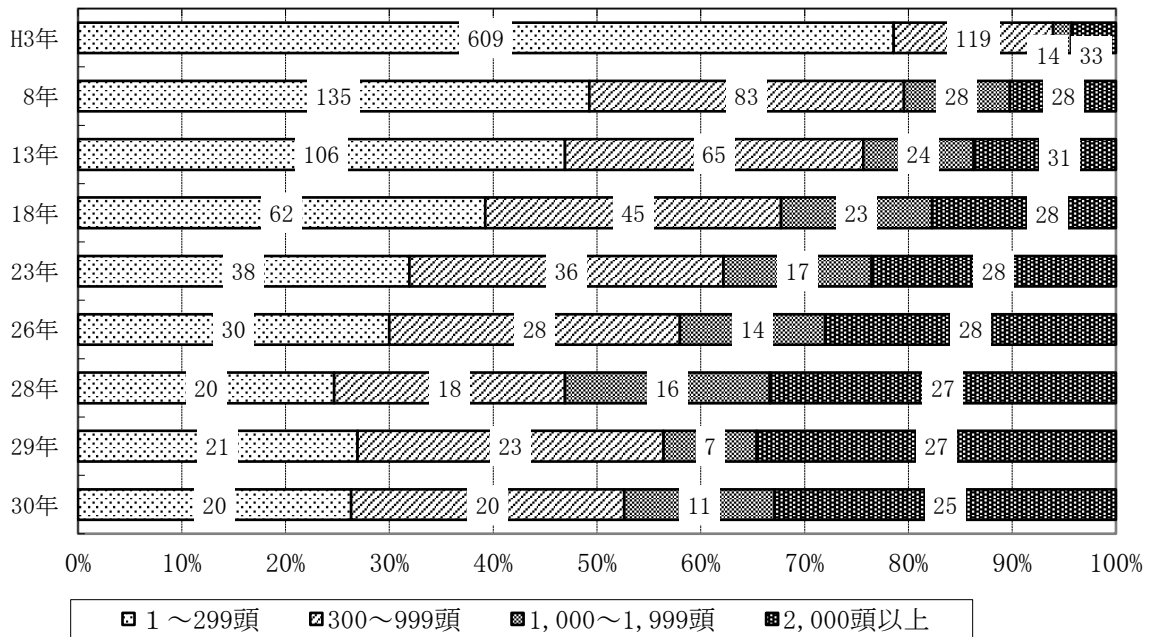
資料：畜産統計

②飼養頭数の推移



資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (肥育豚)



資料：畜産統計

4 採卵鶏

(1) 飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年横ばいで推移し、平成30年は28戸であった。飼養羽数は、前年に比べて2.6%増の7,549千羽となった。また、一戸当たりの飼養羽数は、全国平均の約3.2倍にあたる204千羽で全国一の規模となっている。

(単位:戸、千羽)

区分	飼養戸数		飼養羽数 (採卵鶏)			一戸あたり成鶏めす羽数	
		(順位)	計	(順位)	成鶏めす	ひな	(順位)
青森県	S55.2.1	770	3,743		3,324	419	4
	60.2.1	890	4,798		3,545	1,253	4
	H 2.2.1	590	5,376		4,066	1,310	7
	7.2.1	60	5,641		4,402	1,239	73
	12.2.1	50	5,747		4,479	1,268	90
	16.2.1	45	5,711		4,617	1,094	103
	21.2.1	29	6,267		4,910	1,357	169
25.2.1	青森	29	6,439		4,818	1,621	166
	全国	2,730	174,784		133,085	39,153	50
26.2.1	青森	29	6,514		4,913	1,601	169
	全国	2,560	172,349		133,506	38,843	52
28.2.1	青森	28	6,588		4,980	1,608	178
	全国	2,440	173,349		134,569	38,780	55
29.2.1	青森	28	7,359		5,387	1,972	192
	全国	2,350	176,366		136,101	40,265	58
30.2.1	青森	28 (29)	7,549 (8)		5,714	1,835	204 (1)
	全国	2,200	181,950		139,036	42,914	63

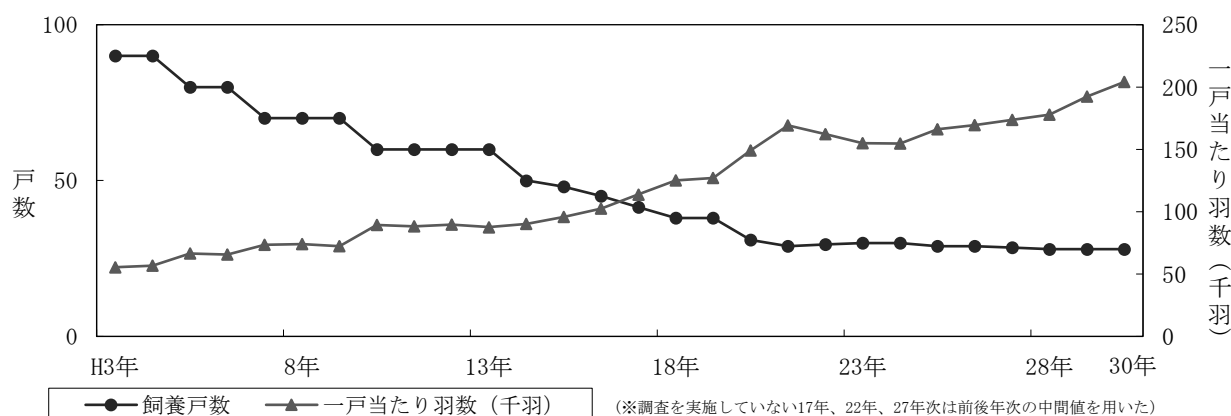
※平成17年、22年、27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

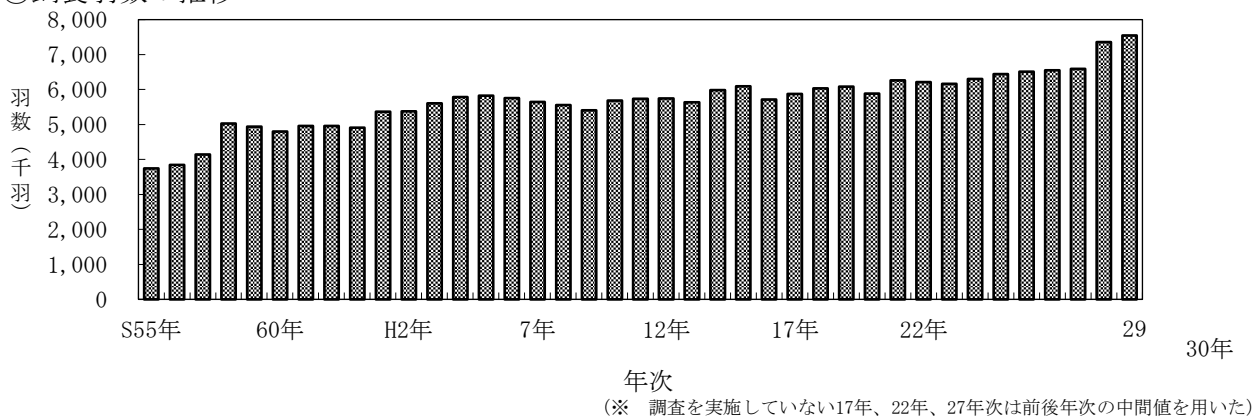
※飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成3年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。

※順位は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

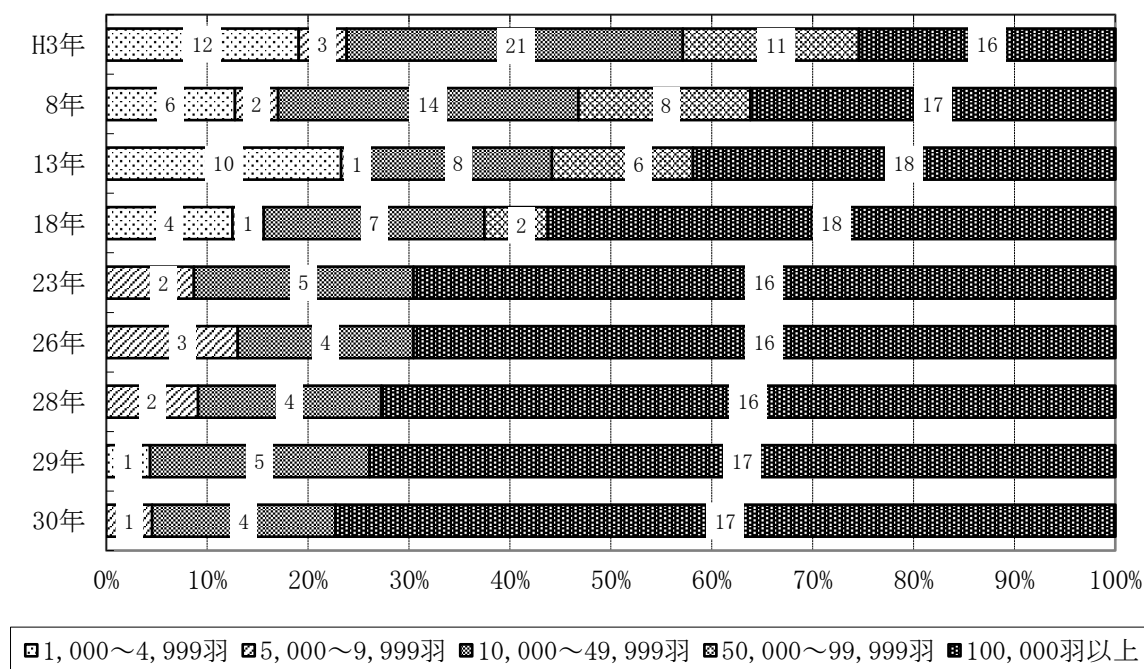
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養羽数の推移



②飼養羽数の推移



(2) 羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



資料：畜産統計

5 ブロイラー

(1) 飼養戸数及び飼養羽数

平成30年の飼養戸数は68戸、飼養羽数は前年に比べて3.7%減の7,018千羽となった。一戸当たりの飼養羽数は全国平均の1.7倍にあたる104.7千羽となっている。

(単位:戸、千羽)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	26年	28年	29年	30年	
青森県	飼養戸数 (順位)	39	43	46	46	48	53	58	66	68	68	67 (6)
	飼養羽数 (順位)	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	6,105	6,844	7,117	7,288	7,018 (4)
	一戸当たり 羽数 (順位)	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	105.3	103.7	104.7	107.2	104.7 (5)
全国	飼養戸数	—	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,392	2,380	2,360	2,310	2,260
	飼養羽数	—	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	107,141	135,747	134,395	134,923	138,776
	一戸当たり 羽数	—	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	44.8	57.0	56.9	58.4	61.4

資料：食鳥流通統計、畜産統計

※平成21年までは、食鳥流通統計として調査。

※平成25年からは、畜産統計として調査。年間出荷羽数3,000羽未満の飼養者を除く。

※平成27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

※順位は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

6 その他

(1) 馬

①軽種馬

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	53	46	44	41	37
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	438	300	276	296	295

資料：県畜産課調査

②軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	136	118	139	118	123
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,436	1,540	1,435	1,814	1,451

資料：県畜産課調査

(2) めん羊

※平成24年から調査方法が変更となっている

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	65	150	165	154	188

資料：県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)

(3) 山羊

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	89	140	163	119	133

資料：県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)

(4) 蜜蜂

(単位:戸、群)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年
飼育戸数	169	160	118	96	92	75	76	103	107	115	117
飼育群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	5,677	5,960	6,024	5,868	5,740

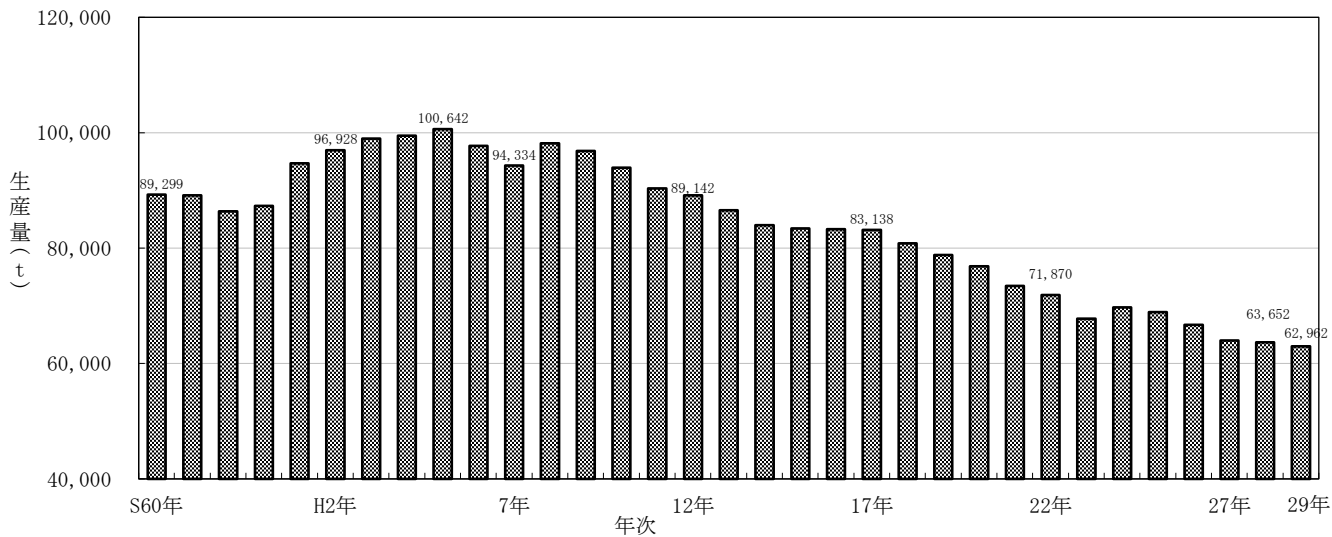
資料：県畜産課調査

第4章 畜産物の流通と価格

1 牛 乳

(1) 生乳生産量

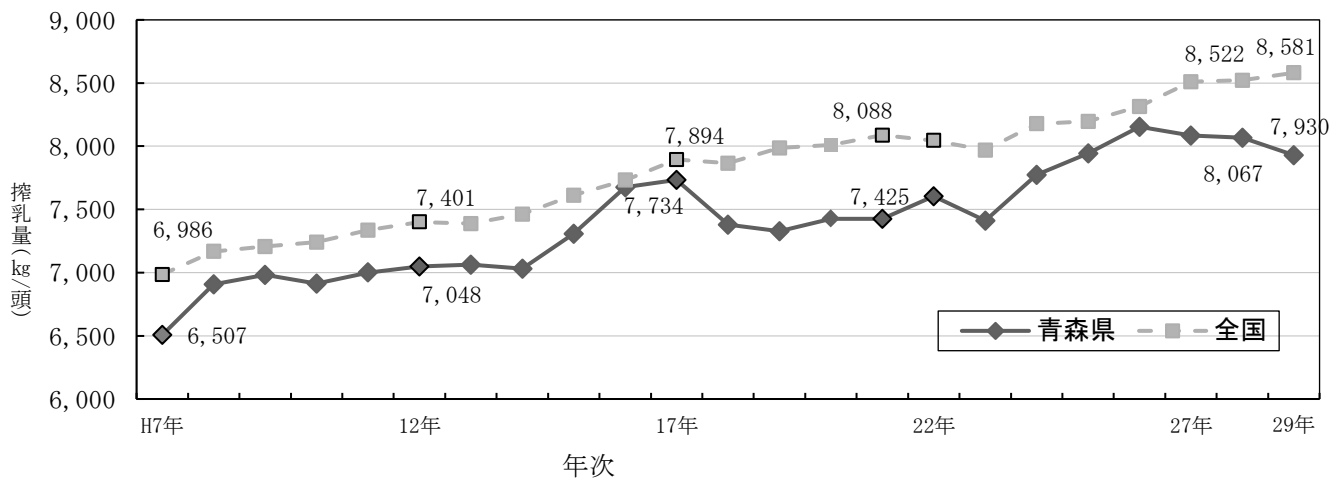
平成29年の生乳生産量は62,962tで、前年に比べて690t（1.1%）減少している。



資料：牛乳乳製品統計

(2) 経産牛1頭当たり年間搾乳量

平成29年の経産牛1頭当たりの年間搾乳量は、7,930kg/頭となっている。



資料：「牛乳乳製品統計調査」及び「畜産統計」の結果から算出

(3) 生乳の価格

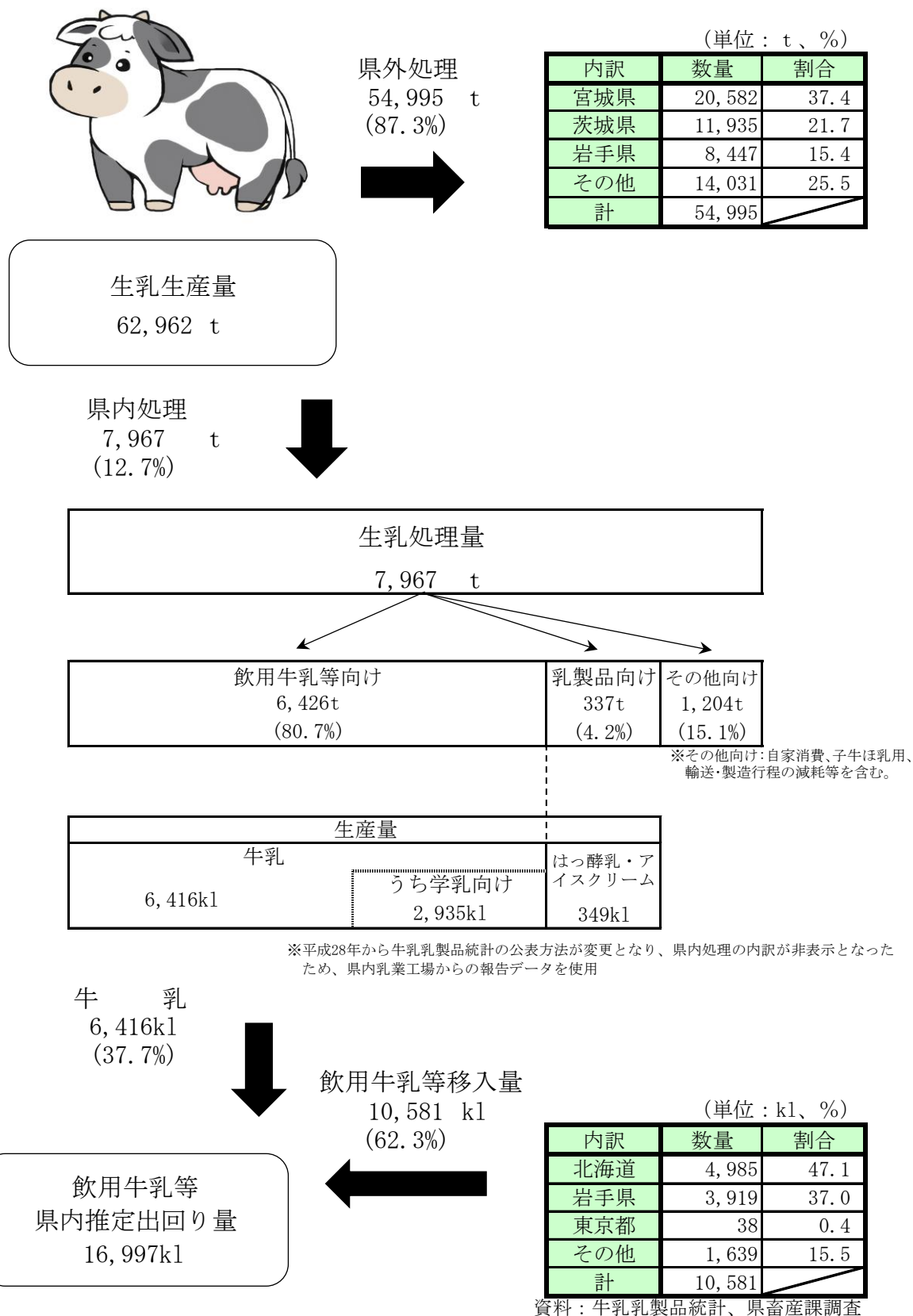
平成29年度のプール乳価は104.67円/kgで、前年に比べて0.52円/kg上昇している。

(単位：円/kg)

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
プール乳価 (補給金含む)	90.91	86.07	90.99	96.31	95.79	96.73	96.41	97.89	100.65	103.85	104.15	104.67

資料：東北生乳販売農業協同組合連合会事業概況

(4) 生乳の流通経路 (平成29年次)



2 肉用牛

(1) 子牛の取引頭数

平成29年の子牛の取引頭数は、前年より5.5%減の10,536頭となっている。

(単位：頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	26年	27年	28年	29年
初生子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,268	6,428	6,059	6,194
	乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	6,965	5,687	5,468	4,342
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	14,233	12,115	11,527	10,536

資料：全国肉用牛振興基金協会調査

(2) 子牛の価格（県家畜市場）

平成29年の子牛価格は、黒毛和種は740千円（対前年比3.1%減）、日本短角種は332千円（対前年比16.9%増）となっている。

(単位：千円（税込）)

区分	S55年		60年		H2年		7年	12年	17年	22年	26年	27年	28年	29年		
	春	秋	春	秋	春	秋	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月		
品種別	黒毛和種		285	305	157	206	355	318	279	355	470	387	542	639	764	740
	日本短角種		272	277	177	205	273	187	127	107	209	164	251	314	284	332
子牛平均価格		267	284	161	205	330	260	241	337	462	385	538	635	761	739	

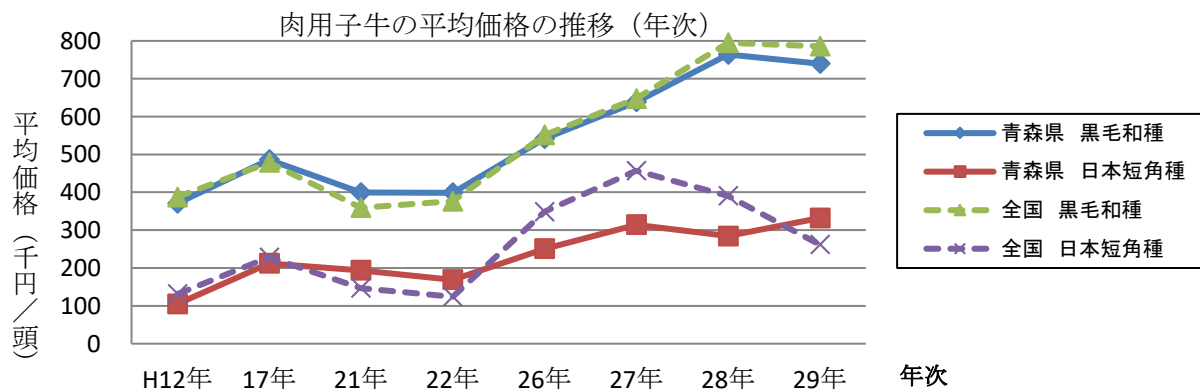
資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

(3) 肉用子牛取引状況

(単位：頭、kg、円、円/kg（税込）)

区分	青森県				全国				
	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成22年	6,516	293	398,952	1,362	352,143	279	376,503	1,349
	平成26年	5,399	293	541,693	1,850	337,807	276	551,427	1,995
	平成27年	4,995	293	638,559	2,176	326,300	278	647,489	2,332
	平成28年	4,857	295	764,075	2,594	312,298	281	794,852	2,830
	平成29年	4,812	297	739,892	2,492	309,778	283	786,209	2,774
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成22年	52	275	169,110	615	1,131	239	123,988	519
	平成26年	74	268	250,906	935	1,057	237	348,593	1,469
	平成27年	58	248	314,019	1,267	963	239	456,982	1,915
	平成28年	31	264	284,283	1,075	964	222	390,463	1,597
	平成29年	16	297	332,437	1,121	935	243	261,763	1,076

資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

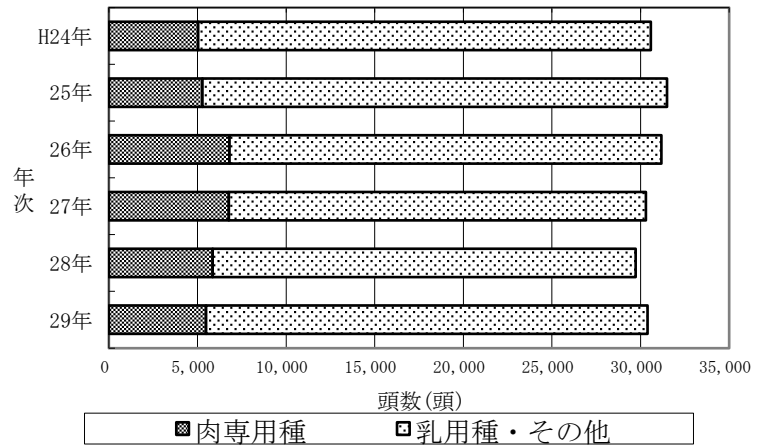


(3) 肉用牛（成牛）の出荷頭数

平成29年の出荷頭数は、前年に比べて2.3%増の30,400頭で、種類別内訳は、乳用種及びその他82%、肉専用種18%となっている。

(単位：頭)

	肉専用種	乳用種・その他	合計
H24年	5,047	25,542	30,589
25年	5,280	26,214	31,494
26年	6,816	24,355	31,171
27年	6,769	23,530	30,299
28年	5,861	23,871	29,732
29年	5,481	24,919	30,400



資料：県畜産課調査、畜産物流通統計(H29以降)

(4) 肉用牛の流通（平成29年次）



県外処理
12,578頭
(41.4%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
東京都	3,660	29.1
岩手県	3,183	25.3
宮城県	2,051	16.3
その他	3,684	29.3
計	12,578	

県内処理
17,822頭
(58.6%)
(74.3%)

県内と畜頭数
23,973頭

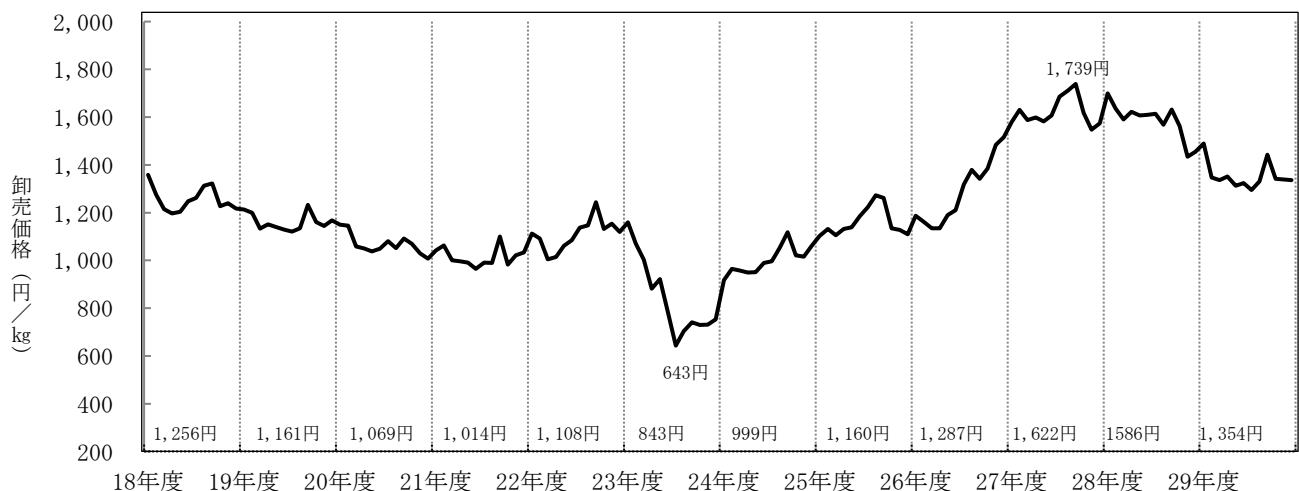
県外からの
生体移入
6,151頭
(25.7%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
岩手県	3,486	56.7
北海道	809	13.2
宮城県	790	12.8
栃木県	524	8.5
その他	542	8.8
計	6,151	

資料：畜産物流通統計

(5) 牛枝肉の卸売価格の推移（東京市場、省令価格）



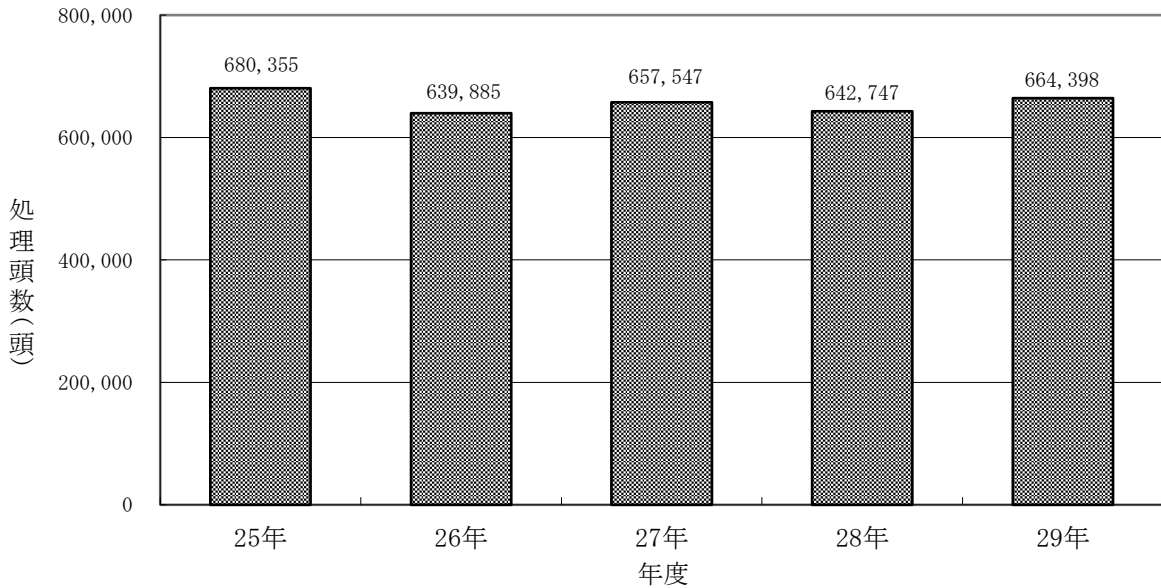
※省令規格とは、去勢牛の「B-2」「B-3」を合わせたもの。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

3 豚

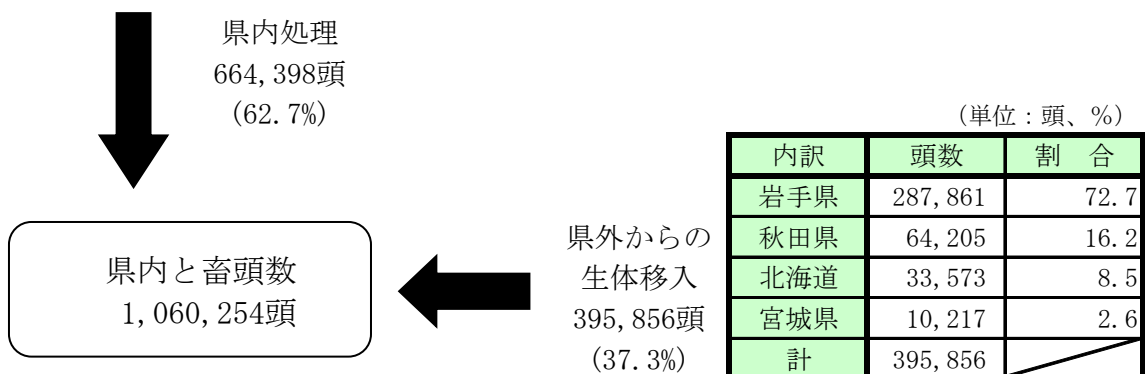
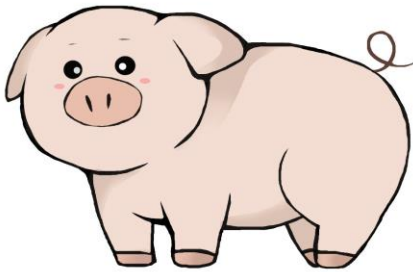
(1) 肉豚の県内処理頭数

平成29年の肉豚の県内処理頭数は、前年に比べて3.4%増の664,398頭となっている。



資料：県食肉衛生検査所調査

(2) 肉豚の流通（平成29年度）



資料：県食肉衛生検査所調査

(3) 子豚の価格

(単位：円/頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	26年	27年	28年	29年
価格	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	15,974	23,672	19,864	20,127	21,682

資料：県畜産課調査

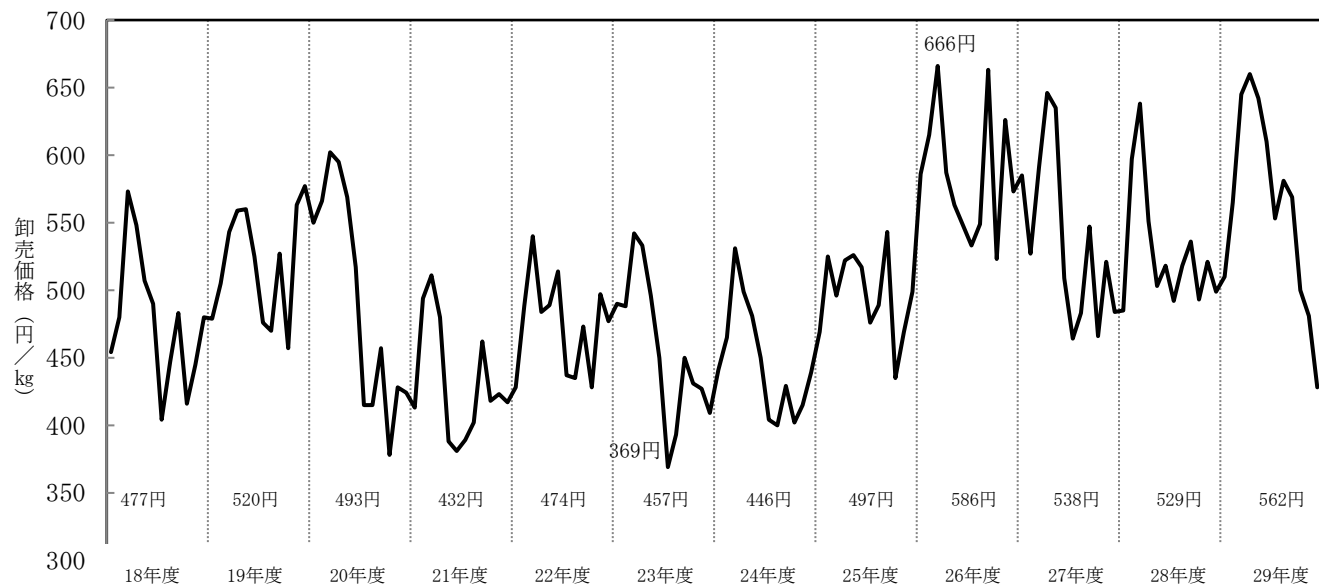
(4) 豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

(単位：円/kg)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	26年	27年	28年	29年
価格	628	601	486	458	436	480	462	565	557	524	569

資料：畜産物流通統計

<参考> 豚枝肉の卸売価格の推移（東京市場、省令規格）



※省令規格とは、極上・上・中・並・等外の規格のうち、「上」規格以上のものを指す。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

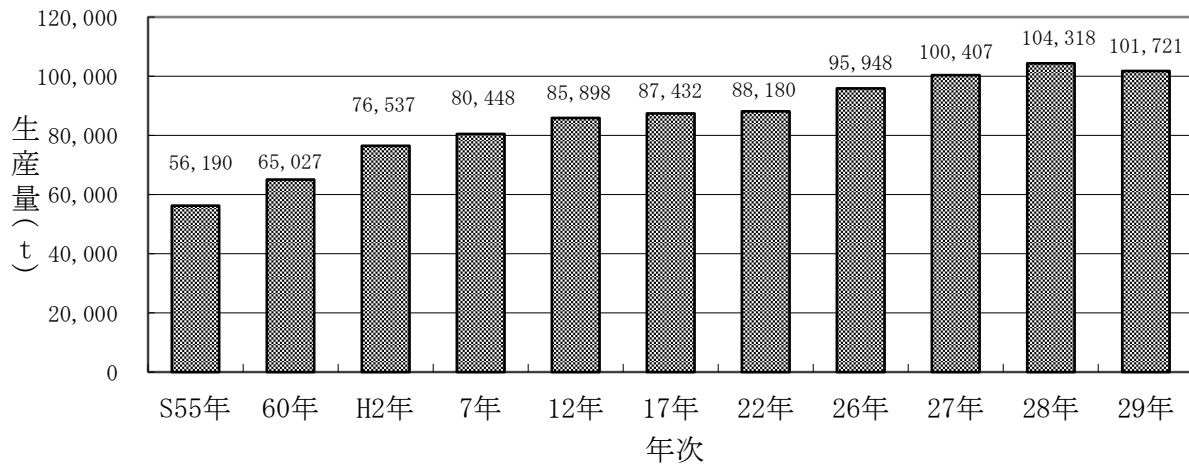
4 鶏 卵

(1) 鶏卵の生産量及び出荷量

平成29年の鶏卵の生産量は、前年に比べて2.5%減の101,721tとなっている。

(単位：t)

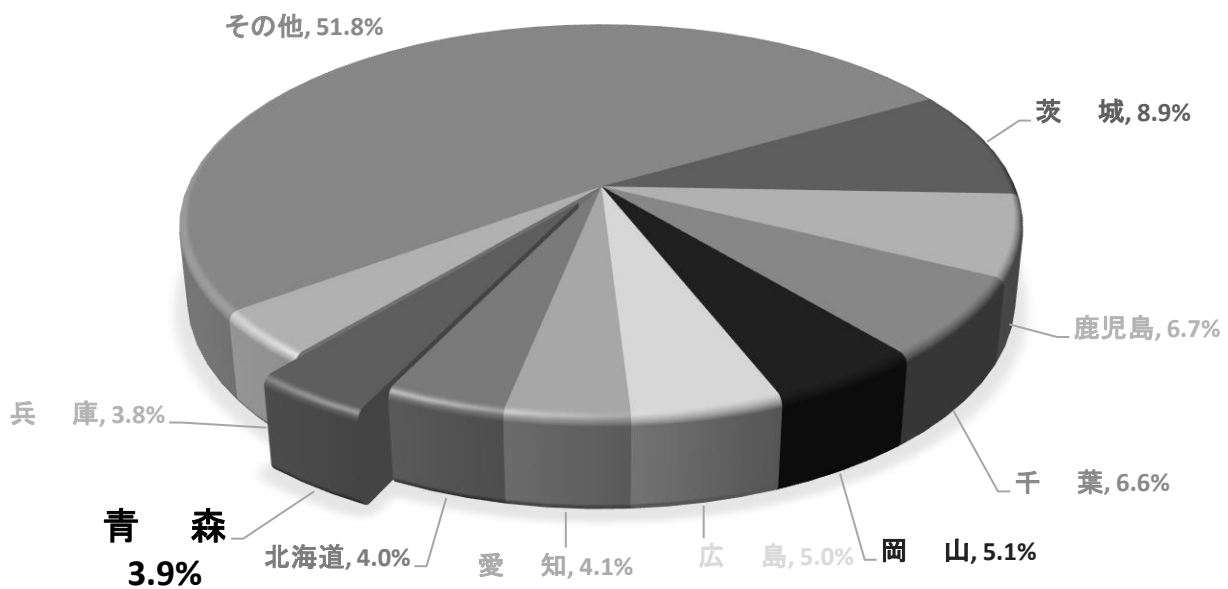
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	26年	27年	28年	29年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	88,180	95,948	100,407	104,318	101,721
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	86,538	93,740			



※出荷量は平成27年以降データなし

資料：畜産物流通統計

(2) 鶏卵の都道府県別生産量 (平成29年次)

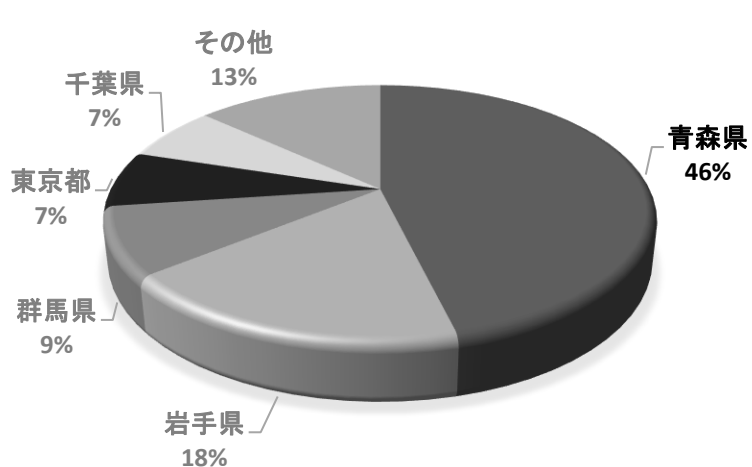


内訳	茨城	鹿児島	千葉	岡山	広島	愛知	北海道	青森	兵庫	その他	合計
生産量	232,533	175,578	171,679	131,815	130,768	107,038	104,030	101,721	99,191	1,346,820	2,601,173
割合	8.9%	6.7%	6.6%	5.1%	5.0%	4.1%	4.0%	3.9%	3.8%	51.8%	

資料：畜産物流通統計

(3) 東京都中央卸売市場入荷量に占める県産鶏卵の割合（平成30年次）

本県産鶏卵の東京都中央卸売市場への入荷量は、全国第1位の5,271tで、全入荷量の46%を占めている。



(単位：t、%)

内訳	入荷量	割合
青森県	5,271	46%
岩手県	2,056	18%
群馬県	987	9%
東京都	801	7%
千葉県	786	7%
その他	1,512	13%
計	11,413	

資料：東京都中央卸売市場統計情報

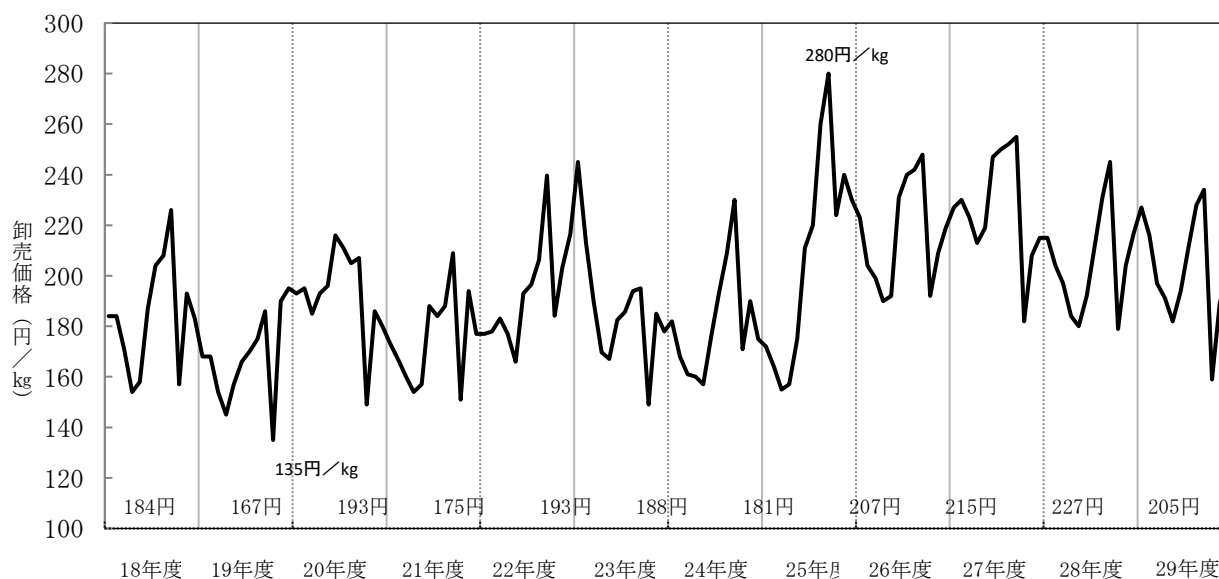
(4) 鶏卵の卸売価格（東京市場、規格「M」）

(単位：円/kg)

区分	S55年度	60年度	H2年度	7年度	12年度	17年度	21年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
卸売価格	300	279	241	197	185	167	175	207	216	227	205	202

資料：JA全農たまご（株）「たまご相場」
(昭和60年までは畜産物流通統計)

<参考> 鶏卵卸売価格の推移（東京市場、規格「M」）

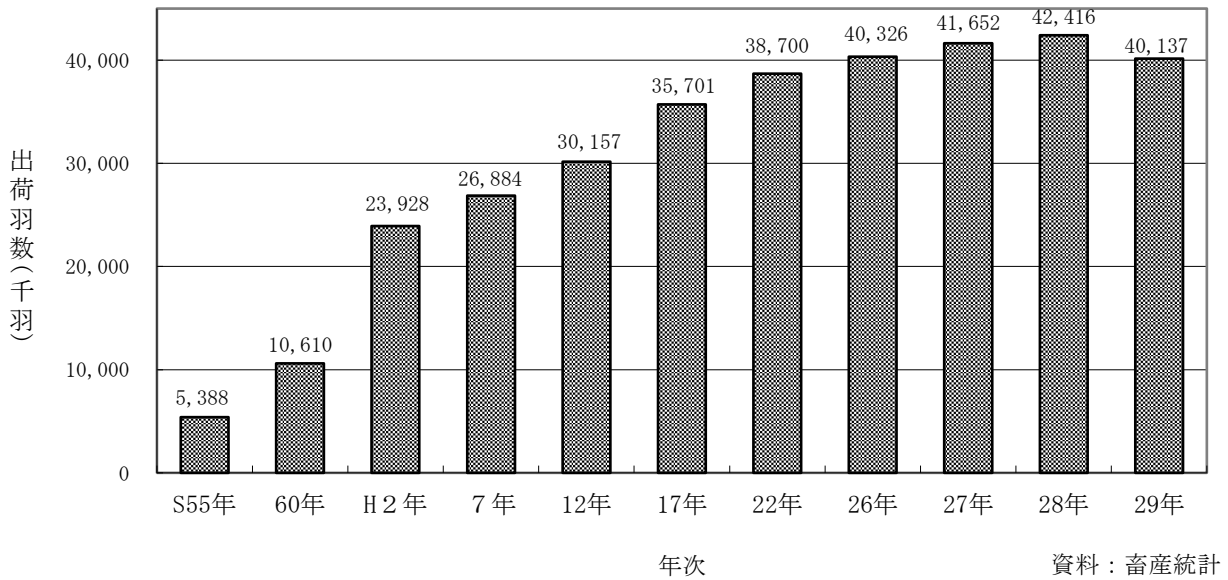


資料：全農畜産販売部情報

5 ブロイラー

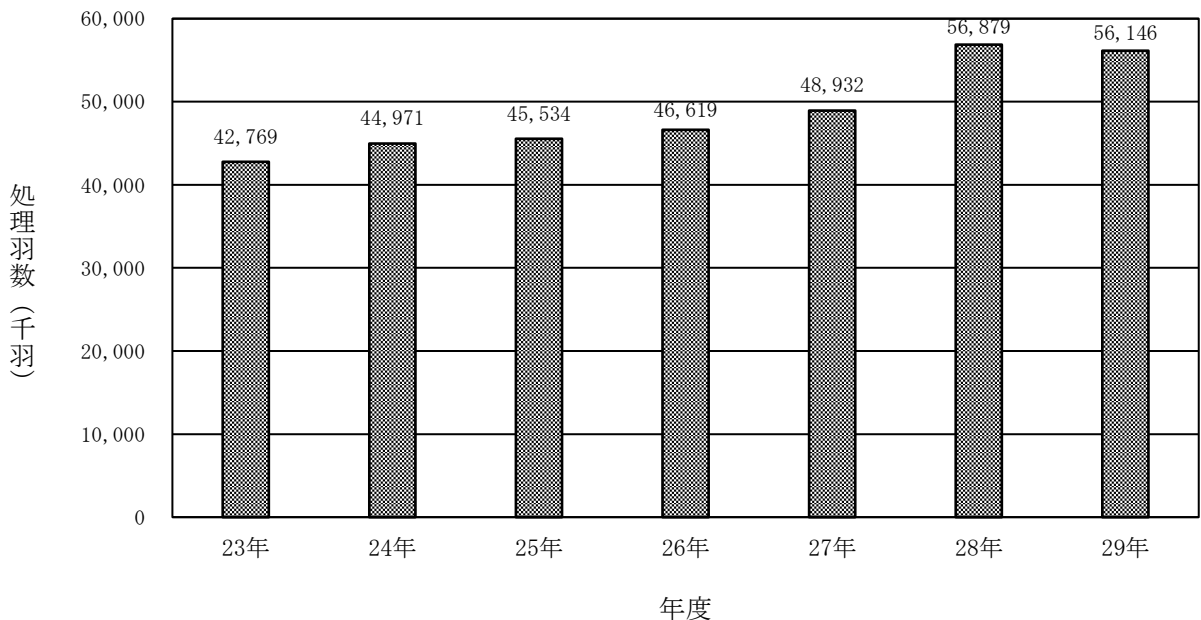
(1) ブロイラー出荷羽数

平成29年の出荷羽数は、前年に比べて5.4%減の40,137千羽となっている。



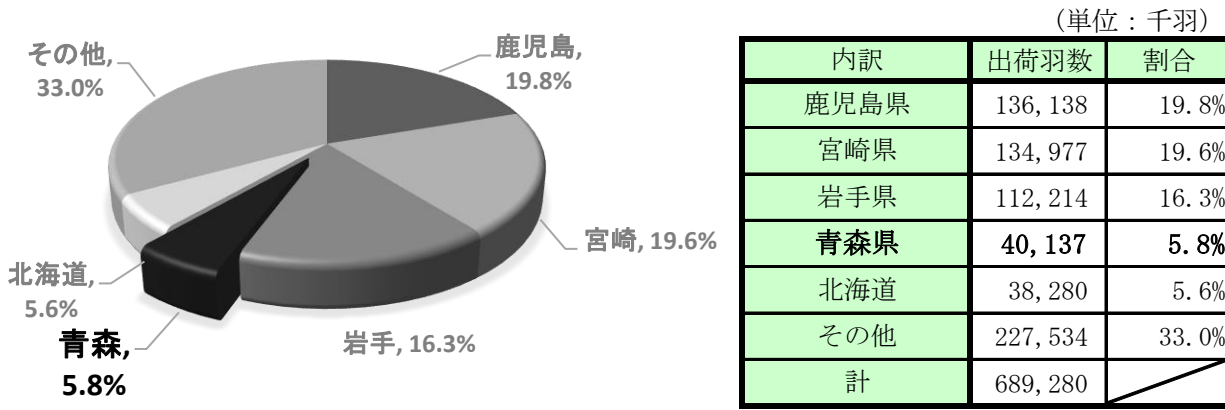
(2) ブロイラー処理量

平成29年の県内処理羽数は、前年に比べて1.3%減の56,146千羽となっている。



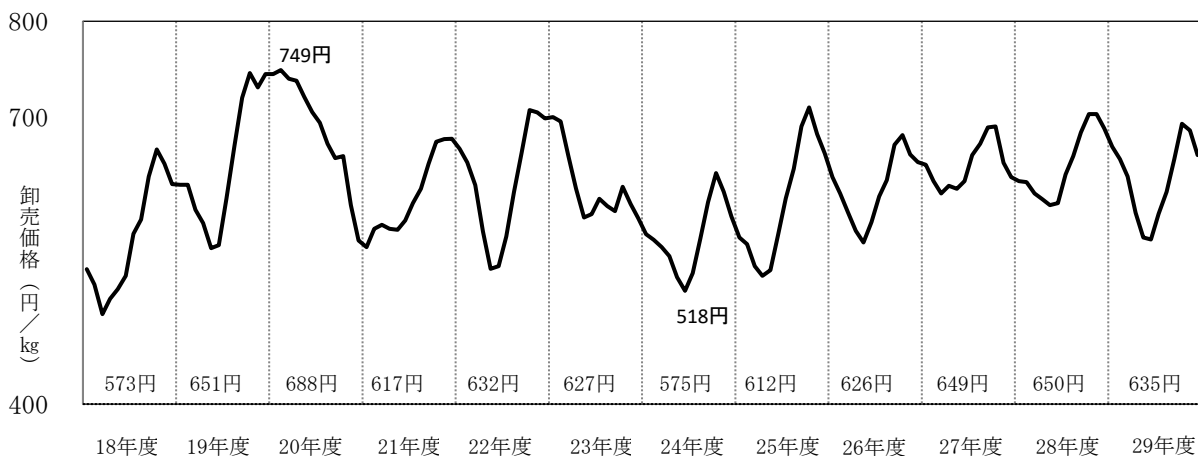
(3) ブロイラーの都道府県別出荷羽数（平成29年次）

本県産ブロイラーの出荷羽数は、全国4位の40,137千羽で全体の5.8%を占めている。



資料：畜産統計

(4) 鶏肉の卸売価格の推移（東京市場、もも肉）



資料：食鳥市況情報、ブロイラー卸売価格

6 畜産物支出金額、購入数量

1人当たり支出金額、購入数量（平成29年次）

(単位：円、g、本)

区分		消費支出	食料費						生鮮魚介
			牛乳※	卵	牛肉	豚肉	鶏肉		
青森市	支出金額	960,973	290,254	4,079	2,392	5,254	10,054	4,530	15,641
	世帯人数 3.08人 購入数量	—	—	111	11,261	2,171	7,791	4,920	12,654
全国	支出金額	1,139,708	317,597	5,134	3,171	7,369	10,077	5,307	14,647
	世帯人数 2.98人 購入数量	—	—	131	10,491	2,208	6,976	5,475	8,312

※牛乳の購入数量は200ml 1本換算

資料：家計調査年報

第5章 畜産物の生産費と収益性

1 生 乳

(1) 生乳生産費

平成29年の生乳100kg（乳脂肪分3.5%換算乳量）当たりの費用合計は10,066円となり、流通飼料費（43.2%）と労働費（20%）が高い割合を占めている。

（単位：円/100kg）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	26年	27年	28年	29年	
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	8,641	8,490	9,224	9,510	9,152	8,979
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	8,578	8,513	9,523	9,935	9,935	10,066

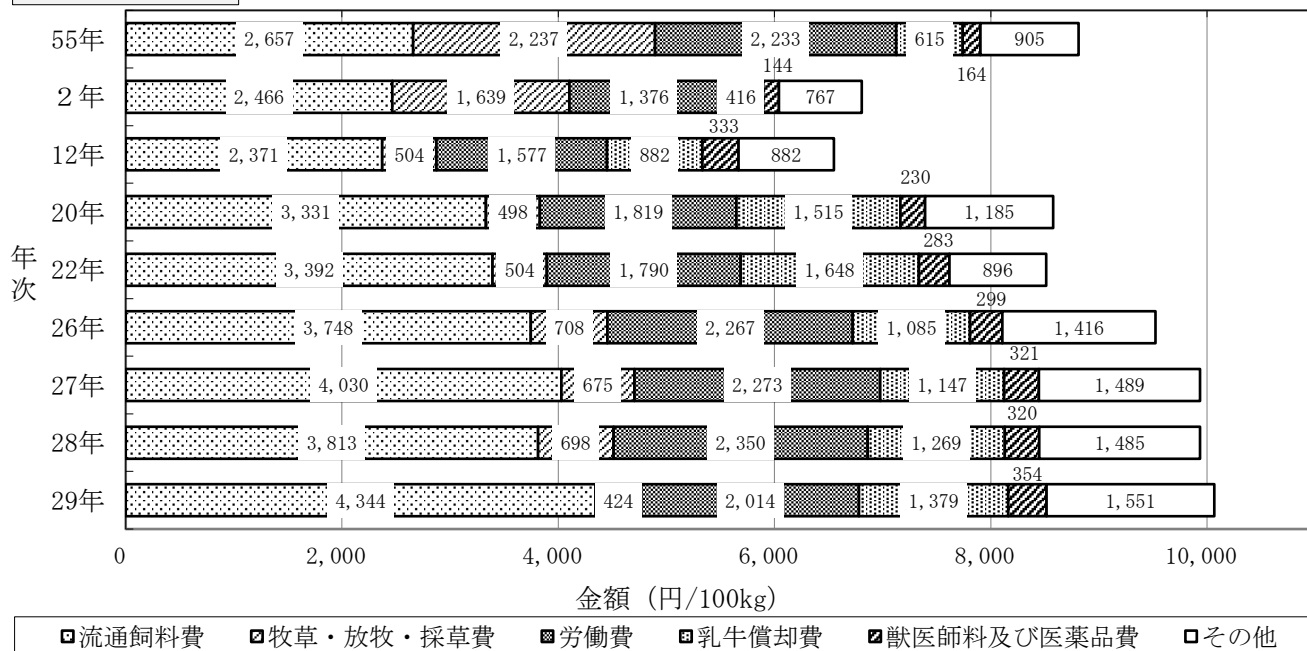
※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

※平成29年から東北データが非公表のため、都府県データを用いた。

費用合計の内訳



全算入生産費とは

生産費 = 費用合計 - 副産物価格

全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

(2) 生乳生産における収益性

平成28年の搾乳牛1頭当たり（通年換算）の所得は、前年に比べて20.5%増の255,459円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	25年	26年	27年	28年	
収益性	所得 (搾乳牛1頭)	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	129,035	164,052	165,728	212,300	212,067	255,459
	家族労働報酬 (1日)	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	7,565	10,180	9,526	11,858	12,112	14,192

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

※平成29年からデータなし。

2 肉用牛

(1) 子牛生産費

平成29年の子牛1頭当たりの費用合計は、575,952円となり、労働費(32.3%)と流通飼料費(26.4%)が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	25年	26年	27年	28年	29年
生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	721,846	673,100	697,629	712,172	700,997	628,773
費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	586,878	618,031	634,866	644,076	632,721	575,952

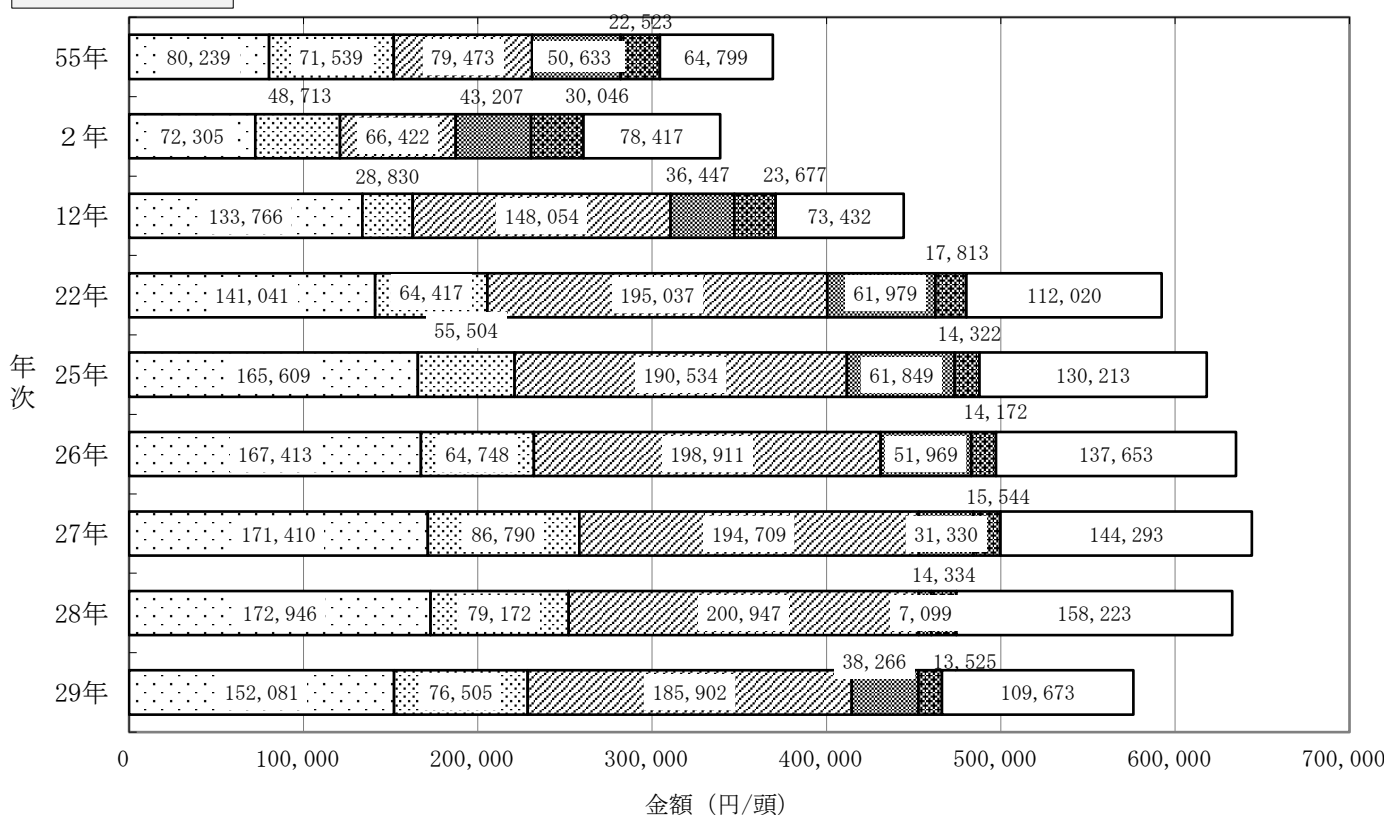
※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

※平成29年から東北データが非公表のため、全国データを用いた。

費用合計の内訳



□流通飼料費 □牧草・放牧・採草費 □労働費 □繁殖めす牛償却費 □賃借料及び料金 □その他

(2) 子牛生産における収益性

平成28年の繁殖めす牛1頭当たりの所得は、前年に比べて61.8%増の356,671円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年	27年	28年
収益性	42,251	△ 78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	△10,089	32,407	74,695	134,279	220,427	356,671
家族労働報酬 (1日)	△ 21,114	△ 15,064	15,894	△ 3,586	△ 637	1,526	-	-	-	3,124	8,384	16,315

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

※平成29年からデータなし。

(3) 肥育牛（去勢若齢）生産費

平成29年の肥育牛1頭当たりの費用合計は、1,241,397円となり、もと畜費（62.9%）と流通飼料費（24.5%）が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	25年	26年	27年	28年	29年
生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	825,090	1,021,726	1,096,054	1,175,121	1,226,362	1,253,930
費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	797,373	1,006,956	1,081,825	1,159,174	1,212,476	1,241,397

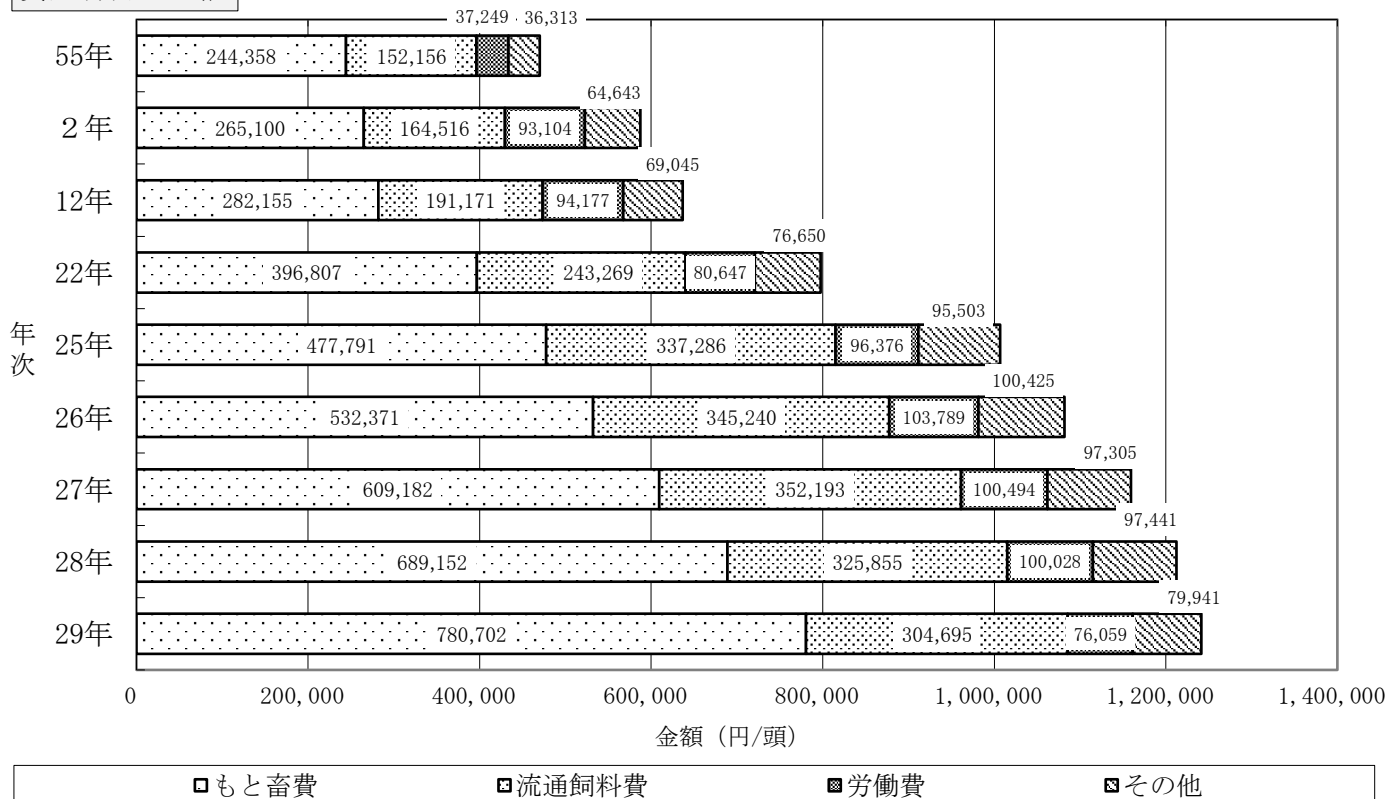
※平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

※平成29年から東北データが非公表のため、全国データを用いた。

費用合計の内訳



(4) 肥育牛（去勢若齢）生産の収益性

平成28年の肥育牛1頭当たりの所得は、前年に比べて37.6%増の228,209円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年	27年	28年
収益性	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	8,866	△ 41,410	9,672	33,630	165,800	228,209
家族労働報酬(1日)	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	—	—	—	1,686	18,394	27,073

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

※平成29年からデータなし。

3 豚

(1) 肥育豚生産費

平成29年の肥育豚1頭当たりの費用合計は、32,884円となり、流通飼料費（62.5%）と労働費（13%）が高い割合を占めている。

（単位：円/頭）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	25年	26年	27年	28年	29年
全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	26,837	36,009	36,923	36,897	34,791	32,760
費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	26,505	35,872	36,936	37,017	34,967	32,884

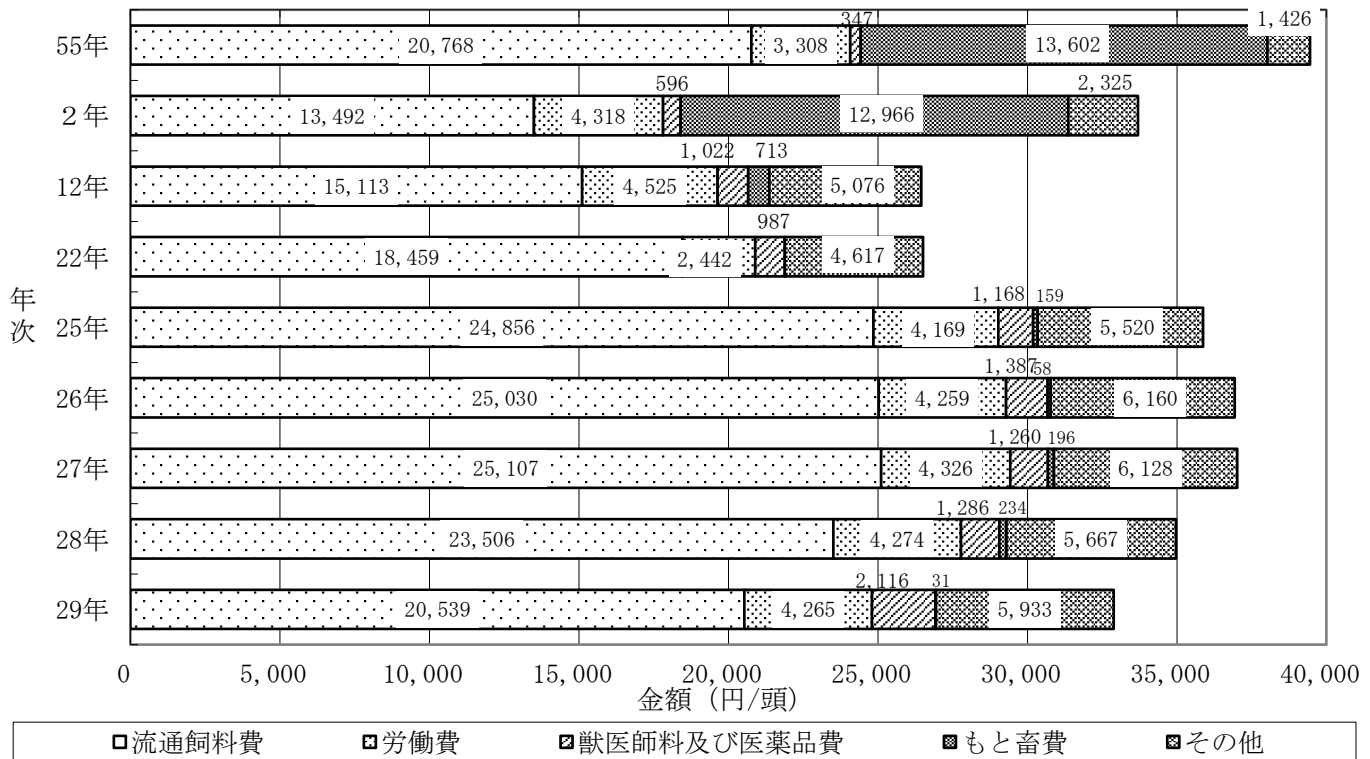
※平成5年から調査対象農家を肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

※平成29年から東北データが非公表のため、全国データを用いた。

費用合計の内訳



(2) 肥育豚生産の収益性

平成28年の肥育豚1頭当たりの所得は、前年に比べて23.2%増の6,446円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年	27年	28年
所得 (1頭)	△ 496	1,705	△ 317	7,000	5,314	7,945	5,935	201	2,607	6,588	5,234	6,446
家族労働報酬 (1日)	—	1,882	△ 1,606	17,600	9,442	26,016	28,281	—	5,739	18,574	13,782	17,322

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

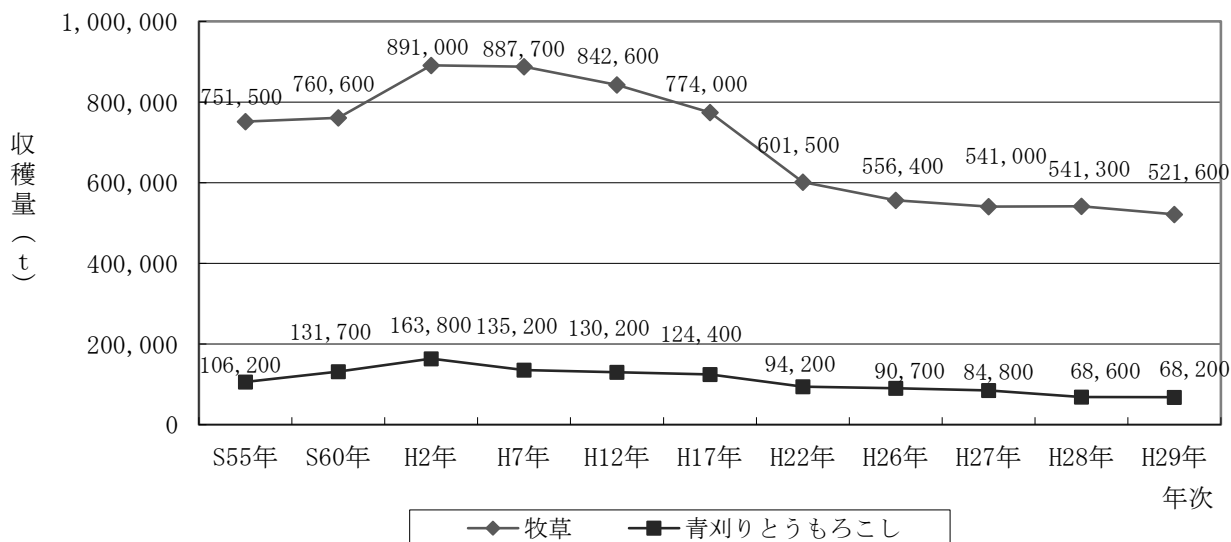
※平成29年からデータなし。

第6章 草地と飼料

1 自給飼料の生産

(1) 飼料作物の収穫量

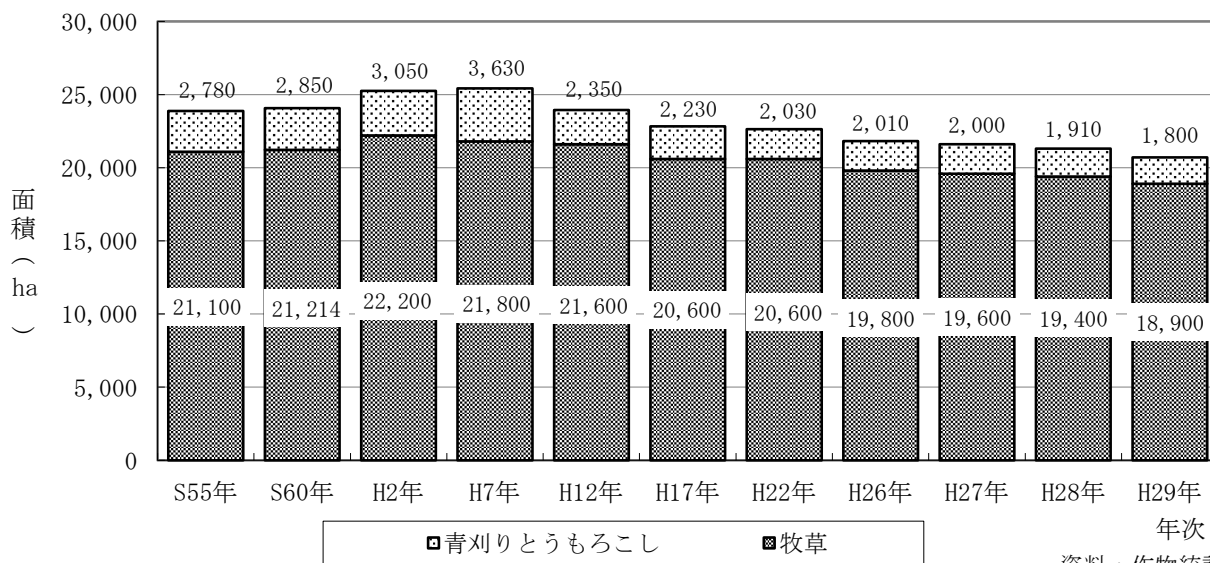
平成29年の飼料作物の収穫量は、牧草が521,600 t（対前年比3.6%増）、青刈りとうもろこしが68,200 t（対前年比0.6%減）となっている。



資料：作物統計

(2) 飼料作物の作付面積

平成29年の作付面積は、牧草が18,900ha（対前年比2.6%減）、青刈りとうもろこしが1,800ha（対前年比5.8%減）となっている。



資料：作物統計

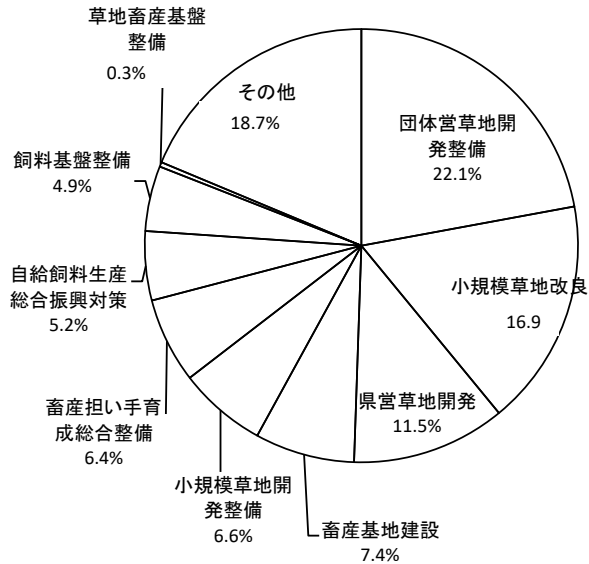
2 草地面積

(1) 事業別草地の造成・整備面積（昭和36年～平成30年）

(単位：ha)

事業名	造成・整備面積
団体営草地開発整備事業	4,187.28
小規模草地改良事業	3,210.90
県営草地開発事業	2,177.35
畜産基地建設事業	1,410.20
小規模草地開発整備事業	1,245.61
畜産担い手育成総合整備事業	1,206.41
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00
飼料基盤整備事業	922.50
地域畜産総合対策事業	655.41
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40
共同利用模範牧場設置事業	442.80
農業公社牧場設置事業	431.41
集約牧野造成事業	368.00
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60
改良牧野造成改良事業	188.00
公共育成牧場整備事業	179.32
県営公共牧場整備事業	130.76
公共牧場機能強化事業	90.74
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	25.00
畜産環境総合整備統合補助事業	1.00
草地畜産基盤整備事業	64.77
合計	18,946.81

資料：県畜産課調査



(2) 公共牧場数と利用状況（平成30年7月1日現在）

(単位：か所、ha、頭)

地域名	牧場数	面積		放牧頭数			
		うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬・羊等	
東青	13	1,306	597	236	0	236	0
中南	3	172	56	22	0	22	0
三八	13	2,488	1,104	868	24	844	0
西北	13	1,172	586	500	0	500	0
上北	27	5,632	2,634	2,905	724	2,181	0
下北	22	2,912	1,319	613	0	587	26
県計	91	13,680	6,295	5,144	748	4,370	26

注) 端数処理のため合計面積が合わない場合がある。

資料：県畜産課調査

(3) 水田転作による飼料作物の作付面積

(単位：ha)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年
転作作物面積①	17,672	14,851	20,797	13,949	22,907	21,032	22,843	31,627	31,650	30,688
飼料作物面積② ※	7,953	5,591	5,928	5,387	6,219	5,155	5,413	12,496	12,946	11,852
比率 (②/①)	45.0%	37.6%	28.5%	38.6%	27.1%	24.5%	23.7%	39.5%	40.9%	38.6%

※飼料用米含む

資料：県農産園芸課調査

3 配合飼料の生産

(1) 用途別入荷量

平成29年度の本県への用途別入荷量は約105万トンで、ほぼ前年度並となった。

(単位：t、%)

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他 家畜用	配合・混合飼料	
	育すう	成 鶏	ブロイラー	子 豚	肉 豚	種 豚	乳牛用	肉牛用		合計	うち配合飼料
S55年度	32,682	186,744	81,558	95,783	33,521	23,657	26,710	64,051	1,154	545,860	512,877
60年度	36,937	228,050	107,481	146,692	34,176	42,909	36,199	103,598	3,346	739,388	718,852
H2年度	39,968	253,177	183,397	233,344	85,149	58,587	44,646	138,039	6,215	1,042,522	1,016,583
7年度	38,346	233,150	188,993	199,422	79,536	53,331	44,352	143,301	10,433	1,005,847	990,864
12年度	34,550	213,943	204,191	162,640	99,296	49,834	56,629	133,954	3,335	970,119	958,372
17年度	34,032	216,257	250,450	142,071	124,349	40,324	55,075	134,106	278	998,274	996,941
22年度	36,987	214,483	249,129	108,738	142,915	45,552	44,926	141,728	64	1,030,026	1,026,555
26年度	38,761	240,073	259,148	94,699	148,612	49,177	37,007	144,066	45	1,050,136	1,049,483
前年度比	102	101	108	90	93	92	96	102	3	99	99
27年度	39,030	258,767	242,405	94,102	139,733	49,034	36,288	143,848	49	1,041,687	1,041,204
前年度比	101	108	94	99	94	100	98	100	109	99	99
28年度	36,906	254,049	252,197	87,947	142,146	49,178	37,114	137,169	72	1,031,986	1,031,096
前年度比	95	98	104	93	102	100	102	95	147	99	99
29年度	38,457	260,873	248,589	88,890	151,847	51,930	38,330	133,757	89	1,047,721	1,046,763
前年度比	104	103	99	101	107	106	103	98	124	102	102

資料：飼料月報

(2) 用途別生産量

平成29年度の用途別生産量は約200万トンで、ほぼ前年度並となった。

(単位：t、%)

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他 家畜用	配合・混合飼料	
	育すう	成 鶏	ブロイラー	子 豚	肉 豚	種 豚	乳牛用	肉牛用		合計	うち配合飼料
S60年度	37,786	233,779	287,450	166,203	50,542	46,486	33,182	100,756	3,338	959,522	959,522
H2年度	51,022	306,290	433,446	291,848	120,048	80,641	68,564	168,681	10,293	1,530,833	1,530,833
7年度	46,329	311,027	447,485	250,820	111,773	69,574	48,793	140,946	10,496	1,437,243	1,437,243
12年度	52,923	381,432	523,579	171,904	145,867	74,410	51,070	133,387	2,662	1,615,609	1,595,867
17年度	53,334	369,661	598,559	168,046	187,447	90,890	60,514	115,829	445	1,714,420	1,710,511
22年度	56,969	338,738	636,562	168,587	221,140	86,279	60,914	159,337	363	1,791,923	1,789,322
26年度	61,229	383,893	696,367	148,668	238,632	88,456	69,716	183,580	354	1,929,337	1,928,754
前年度比	94	97	101	89	94	98	98	90	23	96	96
27年度	63,910	399,357	717,800	155,747	240,944	87,113	71,901	195,428	312	1,992,155	1,991,687
前年度比	104	104	103	105	101	98	103	106	88	103	103
28年度	63,424	408,605	722,775	145,093	242,115	87,088	73,788	194,511	237	1,995,871	1,995,403
前年度比	99	102	101	93	100	100	103	100	76	100	100
29年度	65,429	416,016	726,454	143,385	239,727	87,343	75,372	192,017	426	2,006,777	2,006,140
前年度比	103	102	101	99	99	100	102	99	180	101	101

資料：飼料月報

4 青森県飼料作物奨励品種

平成31年2月現在

(1) 牧草

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
イネ科牧草				
オーチャードグラス	アキミドリⅡ	極早生種	採草放牧兼用（高標高地を除く）。	平成14年
	はるねみどり	早生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成23年
	ハルジマン	晩生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成18年
	まきばたろう	晩生種	夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成23年
	バッカス	晩生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成26年
チモシー	クンプウ	極早生種	秋の生育良好。採草用。	昭和61年
	ユウセイ	極早生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。採草用。	平成26年
	ホライズン	早生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成23年
	ノサップ	早生種	再生力が旺盛で収量が多い。採草用。	平成5年
	アルテミス	中生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成30年
	クライマックス	中生種	葉長、葉幅が大きい。採草用。	昭和44年
	アッケシ	中生種	斑点病抵抗性が強い。採草用。	平成11年
	ヘリオス	中生種	収量が多い。採草用。	平成30年
	ケリタツブ	晩生種	耐倒伏性に優れる。採草用。	平成11年
イタリアンライグラス	ナガハヒカリ	中生種	耐雪性が極めて強い。採草用。	平成8年
ペレニアルライグラス	ヤツカゼ2	中生種	早春早期利用に適し、夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成23年
	フレンド	晩生種	耐雪性が強い。採草放牧兼用。	昭和50年
	ヤツユメ	晩生種	夏期の収量が多い。放牧用。	平成28年
メドウフェスク	まきばさかえ	早生種	越冬性に優れ、早春の生育が良好。放牧用。	平成28年
フェストロリウム	東北1号	中生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成26年
	那系1号	早生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成31年
ケンタッキーブルーグラス	ラトー	早生種	収量が多く、越冬性、耐病性に優れる。放牧用。	平成26年
リードカナリーグラス	パラトン	早生種	草生密度が高く、雑草の侵入が少ない。刈遅れにより嗜好性が低下するため、1番草は出穂期までに刈り取る。	平成20年
マメ科牧草				
アカクローバ	ナツユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種、チモシーの極早生・早生品種との混播に適する。	平成25年
	リョクユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種との混播に適し、永続性に優れる。	平成28年
シロクローバ	フィア	早生種	葉は密生し、再生力に優れる。放牧用。	昭和44年
	マキバシロ	早生種	イネ科との混播適性が高い。	平成5年
アルファルファ	ケレス	早生種	耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成26年
	ウシモスキー	早生種	収量が多く、耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成30年

(2) サイレージ用とうもろこし

品種名（系統名）	早晩性	適当な栽植密度	品種特性等	指定年次
おおぞら（北交55号）	極早生種	8,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成18年
バイオニア100日（P9400）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成27年
バイオニア106日（36B08）	早生種	7,000本/10a	短稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成15年
スノーデント110（LG3520）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成21年
スノーデント108（LG3490）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成23年
バイオニア108日（34N84）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成23年
北交65号（北交65号）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐病性に優れる。	平成26年
ゴールドデントKD550（KE8500A）	早生種	7,000本/10a	安定した収量で、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成26年
きみまる（北交72号）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐病性に優れる。	平成28年
バイオニア110日（P0640）	早生種	7,000本/10a	雌穂割合が高く、長稈で収量が多い。	平成30年
バイオニア115日（P1690）	中生種	6,000本/10a	収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成27年
バイオニア118日（P2088）	中生種	6,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成28年
クミアイデント118N（GN1645）	晩生種	6,000本/10a	安定した収量で、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成19年
サイレージユーンNS127（KE7750）	晩生種	6,000本/10a	茎葉収量が多いため、肉用繁殖雌牛への給与に適する。	平成25年
バイオニア126日（32F27）	晩生種	6,000本/10a	雌穂割合が高く、収量が多い。	平成26年
タカネドウ（長交980）	晩生種	6,000本/10a	耐倒伏性に極めて優れる。	平成29年

(3) その他飼料作物

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
エン麦	前進	中生種	短稈で、子実が多い。サイレージ用。	昭和44年
	アムリⅡ	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成18年
	ニューオールマイティール	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成18年
ライ麦	春香	晩生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成23年
飼料用稲	えみゆたか	早生種	冷涼地帯で玄米収量が多く、いもち病抵抗性に優れる。飼料用米向け品種。	平成28年
	うしゆたか	中生種	茎葉収量が多く、倒伏抵抗性は極めて強い。WCS向け品種。	平成20年
	みなゆたか	中生種	玄米収量が多く、障害型耐冷性は極めて強い。飼料用米向け品種。	平成21年

第7章 家畜衛生

1 家畜防疫事業の推移

家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

(単位：頭、羽、群)

事業区分		S60年度	H2年度	6年度	12年度	17年度	22年度	28年度	29年度	
検査事業	牛	ブルセラ病	16,155	11,473	11,625	3,819	5,825	3,486	1,849	2,999
		結核病	16,155	11,473	11,674	3,910	6,112	3,574	1,889	3,048
		ヨネ病	3,326	630	1,656	7,150	9,046	7,704	11,207	10,080
		アカバネ病	1,732	1,552	1,529	1,026	540	489	497	493
		牛白血病	1,244	1,036	1,034	617	500	530	1,668	1,714
		牛伝染性疾病	80,754	81,386	90,303	87,534	70,913	65,722	79,596	79,388
	馬	馬伝染性貧血	3,326	2,980	2,992	1,585	1,309	823	157	166
		馬伝染性子宮炎	2,540	641	652	496	385	266	0	0
		馬パラチフス	1,293	1,203	1,035	602	450	210	51	107
		馬鼻肺炎	410	413	447	300	230	209	33	25
	豚	豚オーエスキー病	1,098	6,143	4,359	4,612	4,220	4,961	2,181	2,199
		豚コレラ	—	—	—	—	—	520	490	470
		豚伝染性疾病	160,403	213,455	264,869	192,128	184,434	172,084	191,094	192,811
	家きん	ニューカッスル病 (一般)	5,600	6,190	6,340	5,110	4,977	4,935	4,840	4,820
		ニューカッスル病 (種鶏)	2,235	3,075	3,006	2,500	2,880	2,350	2,310	2,300
		家きんサルモネラ感染症 (種鶏)	7,590	8,050	8,000	6,500	4,807	3,950	2,310	2,300
		マイコプラズマ病 (種鶏)	8,440	8,050	8,200	6,500	5,004	3,850	2,310	2,300
		家きん伝染性疾病	680,094	334,220	370,730	288,997	304,995	439,510	355,832	402,040
	蜂	ふそ病	12,849	12,955	10,444	10,293	9,957	9,077	8,235	8,412
	自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎 (混合ワクチンを含む)	7,108	7,523	5,694	7,349	8,172	9,053	11,191
アカバネ病			104	13,816	9,569	9,323	8,430	8,015	7,136	7,391
気腫疽			437	7,012	16,820	12,956	12,072	0	0	0
牛クロストリジウム (混合)			—	—	—	—	—	8,569	6,316	6,468
炭疽			0	20	0	8	27	0	0	0
馬		馬インフルエンザ (混合ワクチンを含む)	1,546	1,320	1,492	234	204	710	619	601
		馬鼻肺炎	539	830	442	285	156	187	254	197
豚		豚丹毒	478,955	669,474	11,790	508,262	455,122	170,852	49,694	45,638
		豚パルボウイルス	1,081	153	1,699	23	0	47	0	0
		豚流行性脳炎・ 豚パルボウイルス混合	0	0	1,659	1,101	704	280	0	0
		豚流行性脳炎	619	15,946	11,208	2,987	2,839	1,550	854	940
鶏		ニューカッスル病	250,480	83,550	64,790	52,290	63,090	93,000	75,000	65,000
		ニューカッスル病 伝染性気管支炎混合	66,000	29,000	13,000	36,000	39,000	64,000	59,000	51,000

資料：県畜産課調査

2 監視伝染病発生状況

牛のヨーネ病、牛白血病及び豚丹毒の発生が引き続きみられている。

(単位：頭、羽、群)

区 分		年 次										
		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
家畜伝染病 (法第2条)	ヨーネ病	23	12	8	29	40	38	25	5	25	2	1
	結核病											
	高病原性鳥インフルエンザ									14		
	腐蝕病	4										
届出伝染病 (法第4条)	牛ウイルス性下痢・粘膜病			1	3							
	牛伝染性鼻気管炎											
	牛カンピロバクター症				1							
	牛白血病	32	44	32	39	30	29	44	42	42	60	73
	気腫疽		1									
	サルモネラ症・牛			2		8			2	1	2	
	サルモネラ症・豚		1	3			4					
	破傷風(牛)											
	馬鼻肺炎											1
	豚丹毒	30	150	169	112	37	9	67	37	39	33	11
	豚赤痢											
	豚流行性下痢							202	15	19		
	鶏白血病											
	サルモネラ症・鶏	4										
	鶏伝染性気管支炎	8										
	鶏痘	1									2	
	マレック病		3									
	ロイコチトゾーン病						16					
	レプトスピラ症・犬	1										
	バロア病				6						80	
アカリダニ病											1	

資料：県畜産課調査

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成29年度の畜産環境汚染の発生は12件で、前年に比べて5件増加した。

(単位：件)

内 訳	H2年度	6年度	12年度	17年度	22年度	27年度	28年度	29年度
悪 臭 発 生	43	52	14	7	7	7	4	9
水 質 汚 濁	25	19	1	4	6	1	0	1
害 虫 発 生	21	19	0	0	1	0	0	0
水 質 ・ 悪 臭	11	8	2	0	2	2	2	1
悪 臭 ・ 害 虫	16	6	2	2	2	0	1	0
そ の 他	5	7	0	0	3	1	0	1
計	121	111	19	13	21	11	7	12

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

①畜種別合計

(単位：件)

内 訳	H2年度	6年度	12年度	17年度	22年度	27年度	28年度	29年度
豚	65	50	9	7	8	5	3	3
乳 用 牛	30	25	0	1	3	0	0	2
肉 用 牛	4	5	1	1	9	5	4	5
採 卵 鶏	21	23	9	2	1	1	0	0
ブロイラー	1	1	0	2	0	0	0	1
その他(馬・めん羊など)	0	7	0	0	0	0	0	1
計	121	111	19	13	21	11	7	12

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

②飼養規模別件数(畜種別合計の平成29年度内訳)

(単位：件)

		悪臭発生	水質汚濁	害虫	水質・悪臭	悪臭・害虫	その他	計
豚	1～99頭							0
	100～999頭	2						2
	1,000～1,999頭							0
	2,000～2,999頭							0
	3,000頭以上	1						1
ブロイラー	1～9,999羽							0
	10,000～99,999羽							0
	100,000～299,999羽						1	1
	300,000～499,999羽							0
	500,000羽以上							0
乳用牛	1～19頭							0
	20～49頭							0
	50～99頭	1						1
	100～300頭							0
	300頭以上	1						1
肉用牛	1～9頭							0
	10～19頭							0
	20～99頭				1			1
	100～499頭	2						2
	500頭以上	2						2
その他		1						1
計	9	1	0	1	0	1		12

資料：県畜産課調査

第9章 参考資料

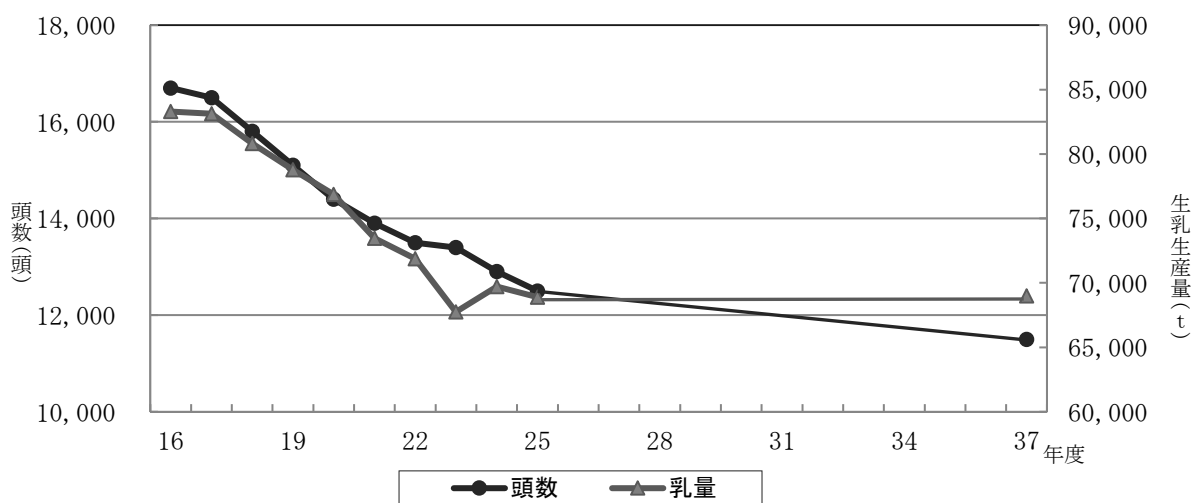
1 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標

(1) 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標

(単位：頭、kg、t)

区分	総頭数 (頭)	成牛頭数 (頭)	経産牛頭数 (頭)	経産牛1頭当たり 年間搾乳量 (kg)	生乳生産量 (t)
現在 (25年度)	12,500	8,740	8,480	7,940	68,905
目標 (37年度)	11,500	8,070	7,800	8,850	69,000

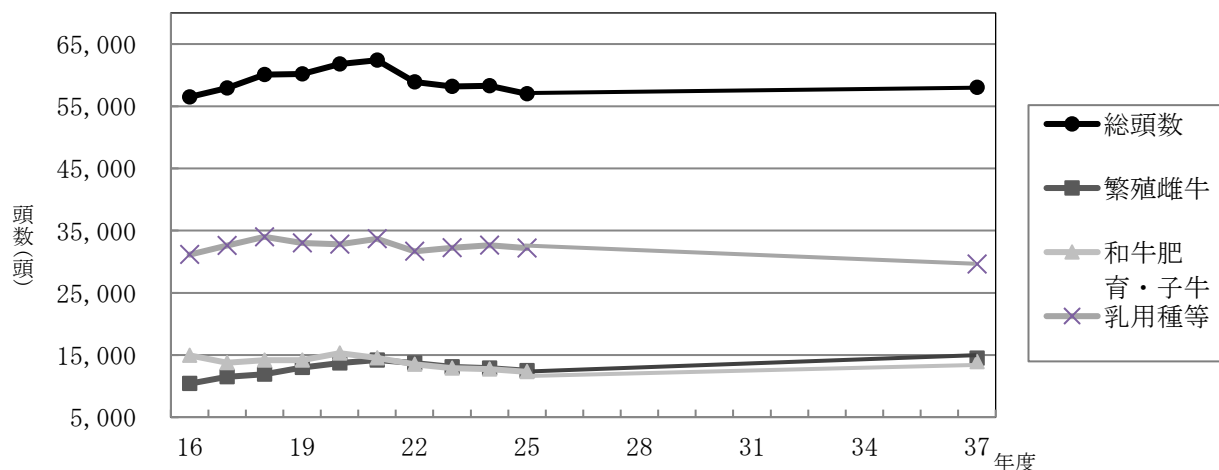
(注) 成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。



(2) 肉用牛の飼養頭数の目標

(単位：頭)

区分	肉用牛 総頭数	肉専用種				乳用種等		
		合計	繁殖雌牛 (育成牛含む)	肥育牛	その他	合計	乳用種	交雑種
現在 (25年度)	57,000	24,800	12,500	8,450	3,850	32,200	23,300	8,900
目標 (37年度)	58,000	28,400	14,500	9,400	4,500	29,600	21,400	8,200

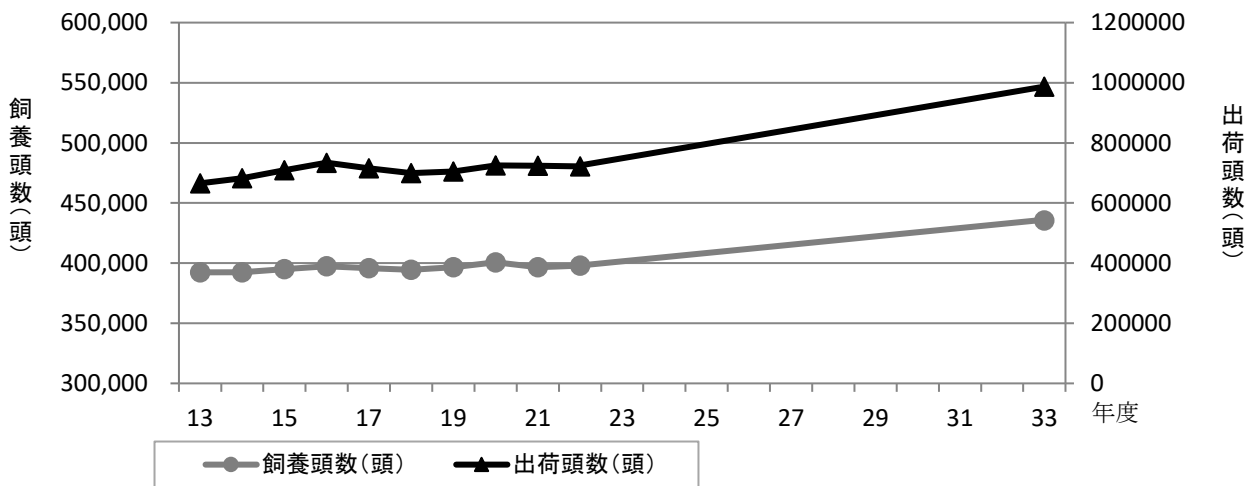


2 青森県養豚・養鶏振興プランの目標

(1) 豚の飼養頭数の目標

区分	飼養頭数(頭)	出荷頭数(頭)
現在 (22年度)	391,200	722,010
目標 (33年度)	542,000	987,000

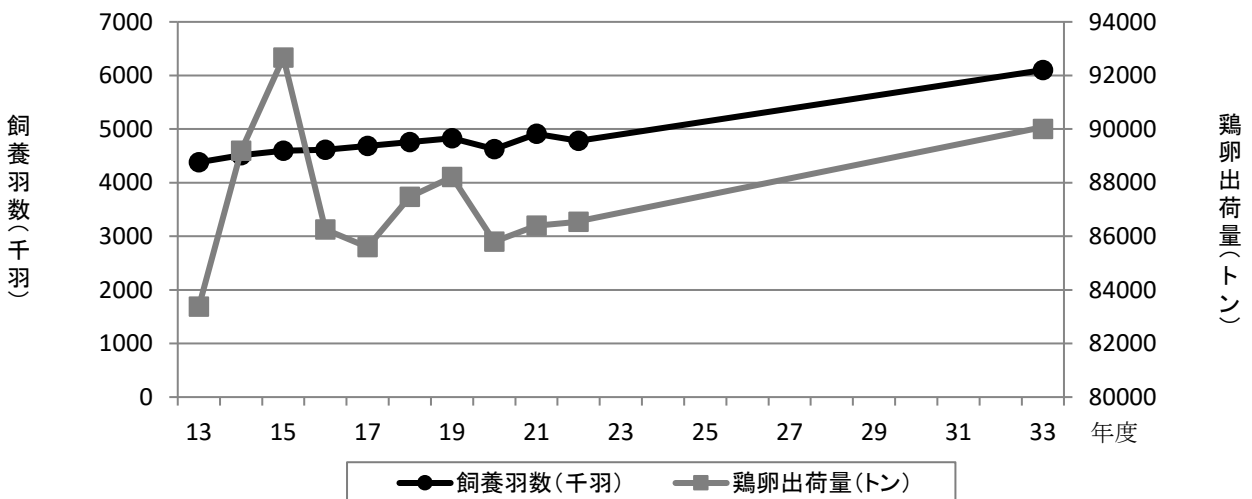
(注) 1. 22年度の飼養頭数は調査未実施のため、前後年の平均値で示した。
2. 出荷頭数は畜産課調査



(2) 採卵鶏の飼養羽数の目標

区分	飼養羽数(千羽)	鶏卵出荷量(トン)
現在 (22年度)	4,780	86,538
目標 (33年度)	6,100	90,000

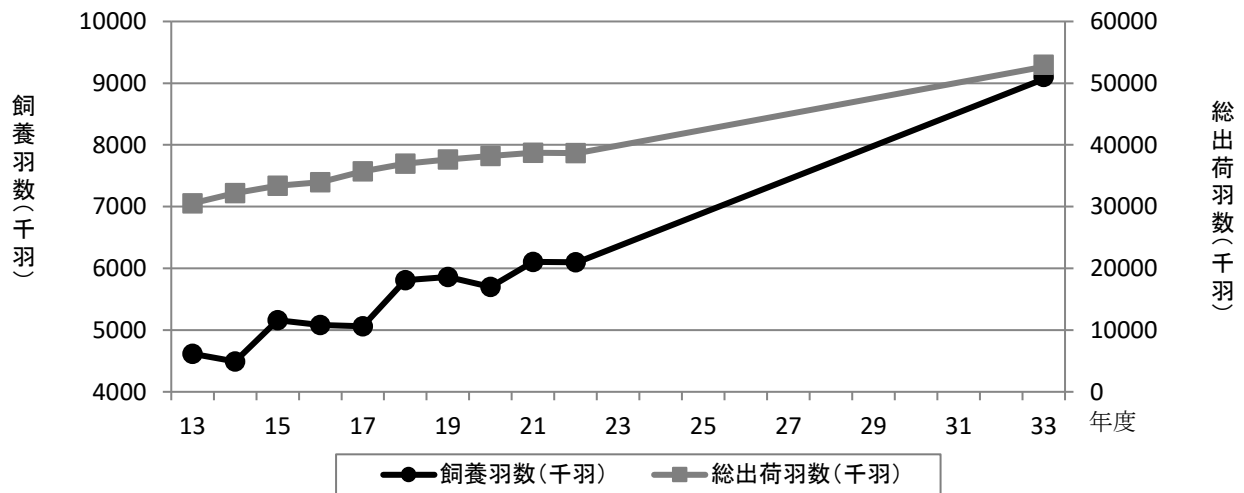
(注) 1. 飼養頭数は成鶏めす(6か月以上)の数
2. 22年度の飼養頭数は調査未実施のため、前後年の平均値で示した。



(3) プロイラーの飼養羽数の目標

区 分	飼養羽数 (千羽)	総出荷羽数 (千羽)
現 在 (22年度)	6,100	38,700
目 標 (33年度)	9,100	53,000

(注) 22年度の飼養羽数は調査未実施のため、総出荷羽数を前年の回転率で除して算出



3 畜産行政組織の概要

農 林 水 産 部

(平成31年3月1日現在)

		電話番号	FAX	郵便番号	住 所
畜 産 課	企画管理グループ	017-734-9495			
	経営支援グループ	017-734-9496	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
	衛生・安全グループ	017-734-9498			
	飼料環境グループ	017-734-9497			
東青地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室	017-734-9965	734-8305	030-0861	青森市長島二丁目10-3
	青森家畜保健衛生所	017-764-1744	728-0335	030-0134	青森市大字合子沢字松森395-26
中南地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室 黒石分室	0172-33-2902	34-4390	036-8345	弘前市蔵主町4
		0172-52-4335	53-4114	036-0524	黒石市緑ヶ丘95
三八地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三戸普及分室	0178-27-5111(代)	27-3323	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
		0178-27-4444			
		0179-23-3264~6	23-3274	039-0134	三戸町同心町字同心町平54-7
	八戸家畜保健衛生所	0178-27-7415	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2
西北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 つがる普及分室	0173-72-6612	72-6618	038-2761	鯉ヶ沢町舞戸町字鳴戸384-37
		0173-35-2345	33-1345	037-0046	五所川原市栄町10
		0173-42-2222	42-2272	038-3146	つがる市木造桜木9-1
		0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2-1
上北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三沢普及分室	0176-22-8111(代)	22-9161	034-0093	十和田市西十二番町20-12
		0176-23-4281	25-7242		
		0176-53-2498	53-8539	033-0024	三沢市東岡三沢1-1-7
		0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23
下北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室	0175-22-8581(代)	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
		0175-22-2685	22-3212		
	むつ家畜保健衛生所	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25

4 試験研究機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター

畜産研究所

繁殖技術肉牛部

中小家畜・シャモロック部

酪農飼料環境部

和牛改良技術部

電話番号

FAX

郵便番号

住所

0175-64-2231 64-2230 039-3156 野辺地町枇杷野51

0173-26-3153 26-3205 038-2816 つがる市森田町森田月見野558

5 行政区域・各機関所在地



6 畜産関係機関・団体

(平成31年3月1日現在)

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
協 会 等	一般社団法人青森県畜産協会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2523	731-1196
	公益社団法人青森県獣医師会	030-0813	青森市松原2-8-2	017-722-5989	722-6010
	公益社団法人青森県獣医師会 食鳥検査センター	034-0001	十和田市大字三本木字野崎1-50	0176-58-0192	58-0913
	青森県養鶏協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	752-8191
	一般社団法人青森県養豚協会	030-0813	青森市松原3-8-5	017-752-1027	777-1590
	青森県酪農協会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAゆうき青森らくのう支所内	0175-64-3241	64-3244
	青森県飲用牛乳協会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青森県家畜人工授精師協会	039-2624	上北郡東北町乙供63-239 全農青森県本部畜産酪農課内	0175-63-3551	65-5006
	一般社団法人青森県配合飼料 価格安定基金協会	030-0812	青森市堤町1-2-21 青森県食糧会館3階	017-777-6543	775-5354
	青森県牛乳普及協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8631	762-1082
	一般社団法人日本短角種登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	公益社団法人全国和牛登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	東北軽種馬協会	039-0814	三戸郡南部町坩渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
	一般社団法人青森県畜産・飼料 コンピナート振興協会	031-0813	八戸市新井田字外久保7-54	0178-51-8868	51-8876
農 協 等	全国農業協同組合連合会 青森県本部	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1082
	JA全農あおもり畜産酪農部 畜産酪農課牛乳冷却処理所	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	青森県畜産農業協同組合連合会	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	ゆうき青森農業協同組合 らくのう支所	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
	青森県農業共済組合連合会	030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
	青森県軽種馬生産農業協同組合	039-0814	三戸郡南部町坩渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
そ の 他	公益社団法人あおもり農林業 支援センター	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131	734-1738
	青森県食肉事業協同組合連合会	030-0113	青森市第二問屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050- 1197-8559
	青森県養蜂協会	030-0822	青森市中央2-1-15 (一社)青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	青森シャモロック生産者協会	030-0822	青森市中央2-1-15 (一社)青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	一般社団法人青森県農業会議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館4階	017-774-8580	774-8588

7 畜産関係施設

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
家畜市場	青 森 県 家 畜 市 場 (青森県畜産農業協同組合連合会)	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八 戸 産 地 家 畜 市 場 (八戸畜産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町坵渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三 本 木 産 地 家 畜 市 場 (三本木畜産農業協同組合)	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	八 戸 サ ラ ブ レ ッ ド 家 畜 市 場 (青森県軽種馬生産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町坵渡鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
食肉センター	日 本 フ ー ド パ ッ カ ー 津 軽 株 式 会 社	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡84-1	0172-58-4652	58-4664
	三 沢 市 食 肉 処 理 セ ン タ ー	033-0022	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	ス タ ー ゼ ン ミ ー ト プ ロ セ ッ サ ー (株) 青森工場三戸ビーフセンター	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤23-1	0179-25-2211	25-2213
	十 和 田 食 肉 セ ン タ ー	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
	日 本 フ ー ド パ ッ カ ー 株 式 会 社 青 森 工 場	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
	A T O 食 肉 セ ン タ ー	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡1-1	0172-58-4683	55-6726
主な乳業工場	萩 原 乳 業 株 式 会 社	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	財 団 法 人 新 郷 村 社 ふ る さ と 活 性 化 公 社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2522
	有 限 会 社 斗 南 丘 牧 場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
	財 団 法 人 十 和 田 湖 社 ふ る さ と 活 性 化 公 社	034-0301	十和田市奥瀬堰道39-1	0176-72-3201	72-3204

8 県内の特徴的な動き(平成30年度)

(1) 畜産の担い手・労働力確保対策の取組

県では、畜産の担い手・労働力の確保に向けて、小中学生の親子や高校生等を対象とした施設見学研修会や出前授業等を実施し、就労のきっかけづくりに取り組んでいます。また、畜産の魅力を発信するための紹介冊子等を作成し、畜産業のPRに取り組んでいます。



農業高校生の畜産施設研修会



小学生の畜産施設見学会

(2) 獣医師確保対策の実施

県では、平成24年1月に「青森県獣医師職員確保プラン」を策定し、将来にわたり県獣医師職員を安定的に確保するため、インターンシップや小中学・高校への出前講座の実施、獣医系大学生や県内高校生への修学資金の給付などに取り組んでいます。



小学校への出前講座



(3) 小学生親子対象の体験学習会を実施

県では、環境公共（「農林水産業は地域の環境を守る」との観点で行われる公共事業）推進プロジェクトの一環として、畜産に対する理解醸成を深めるため、地域の農林水産業の体験学習会において小学生や保護者を対象にエサやり体験等を実施しています。



小学生の親子参加者を募集



エサやり体験

(4) 安全で安心な畜産物の生産に向けた取組

県では、消費者から信頼される安全で安心な畜産物を生産するため、生産者が「農場HACCP」や「JGAP家畜・畜産物」認証について相談できるような相談窓口の設置や認証取得に向けた指導に取り組んでいます。



農場HACCP相談窓口



農場指導

(5) 第12回全国和牛能力共進会「鹿児島大会」に向けた取組

2022年に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会で前回大会を上回る成績を収めるため、県ロードマップや各和牛改良組合が作成したアクションプランに基づき、遺伝子解析を活用した交配計画の検討や繁殖成績向上対策を実施しています。

第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会 ロードマップ		
平成30年8月 青森県農林水産部畜産課		
6. 目標設定 出品全部門において、過去最高の成績を獲得するとともに、県産和牛を全国にPRする。		
部門	目標	参考 (前日持大会)
種牛の部	優等賞3個以上	優等賞2個
肉牛の部	優等賞3個以上	優等賞0個
出品団体	10位以内	15位
PR対策	県及び産牛県アグリス米産子、5,000人	鹿児島県産牛者、約5,000人



遺伝子解析用サンプル採取

ロードマップ

(6) 県産畜産物の消費拡大対策

県では、県産畜産物の消費拡大を図るため、(公社)青森県観光連盟が主催する「アスパム秋まつり」や、八戸市主催の「畜産フードフェア」、津軽海峡交流圏「大農林水産祭」において、畜産関係団体とともに県産畜産物のPRに取り組みました。



アスパム秋まつり



大農林水産祭

9 県基幹種雄牛

広 清

ひろきよ



黒原5907 (82. 1)

生年月日：平成25年4月2日

産 地：十和田市

繁 殖 者：畑山 廣志

白清85の3

(岐阜・高山)

直検1.13

現検H14

飛騨白清

(岐阜・飛騨)

黒原2640

間検0.80 3.6

やす19の3

(岐阜・高山)

黒原957178

安平

(宮崎・宮崎)

黒原2208

直検1.24

間検0.95 3.0

なおみ2

(宮崎・小林)

黒原1334672

ちざくら

(宮崎・小林)

黒原880981

安福(岐阜)

(兵庫・美方)

第8はくさん

(岐阜・飛騨)

安福(岐阜)

(兵庫・美方)

やす165の14

(岐阜・高山)

安福(宮崎)

(兵庫・美方)

きよふく

(岐阜・高山)

隆桜

(宮崎・児湯)

いとし6

(島根・仁多)

岐阜県の名牛「白清85の3」により造成された種雄牛です。

産子の枝肉の上肉率は青森県検定成績歴代1位と評価されました。

また、発育のよさも十分で、様々な雌牛への交配が期待されます。

推奨交配パターン

「第1花国」等の糸桜系雌牛
及び気高系雌牛全般

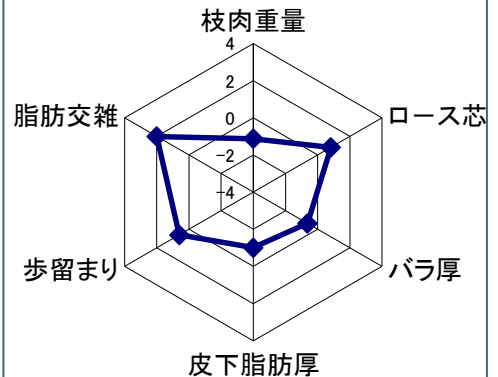
測定値	
体高	153.0
体長	182.0
胸囲	223.0
胸深	81.0
尻長	63.0
かん幅	54.0
体重	798

直接検定 0.99

現場検定(平均 n=15)

BMS 7.7 枝重 468.5kg

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	8.539	1098	0.885
ローズ芯	14.391	93	0.885
バラ厚	0.571	606	0.864
皮下脂肪	-0.007	1655	0.890
推定歩留	2.193	197	0.896
脂肪交雑	2.683	10	0.902



平成30年9月第47回育種価評価から
順位は2,176頭中の順位



現場検定調査牛 めす(広清×平茂勝×安平)
枝肉重量 471.5kg ローズ芯 64cm² BMSNo. 11

春待白清

はるまちしらきよ

黒14989 (81.7)

生年月日：平成24年11月27日

産地：十和田市

繁殖者：奥瀬牧野組合



平成30年2月
基幹種雄牛指定

白清85の3

(岐阜・高山)

直検1.13

現検H14

飛騨白清

(岐阜・飛騨)

黒原2640

間検0.80 3.6

やす19の3

(岐阜・高山)

黒原957178

安平

(宮崎・宮崎)

黒原2208

直検1.24

間検0.95 3.0

安福(岐阜)

(兵庫・美方)

第8はくさん

(岐阜・飛騨)

安福(岐阜)

(兵庫・美方)

やす165の14

(岐阜・高山)

安福(宮崎)

(兵庫・美方)

きよふく

(岐阜・高山)

平茂勝

(鹿児島・薩摩)

かねこ

(鹿児島・薩摩)

はるか

(宮崎・都城)

黒2243711

かねこ5

(鹿児島・薩摩)

黒原1221101

岐阜県の名牛「白清85の3」により造成された種雄牛です。

産子の枝肉は脂肪の質がよく、口どけの良い和牛肉の生産に向いています。胸や背幅、腿の充実も良く、体型面での改良も期待されます。

測定値	
体高	149.0
体長	176.0
胸囲	222.0
胸深	79.0
尻長	61.0
かん幅	51.0
体重	770

直接検定 1.04

現場検定(平均 n=18)

BMS 7.3 枝重 456kg

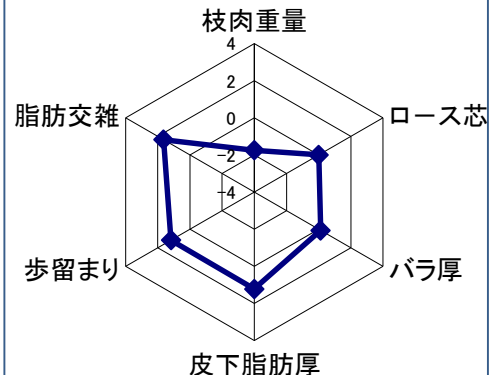
推奨交配パターン

「第1花国」等の糸桜系雌牛
及び気高系雌牛全般



現場検定調査牛 去勢(春待白清×北平安×第1花国)
枝肉重量 501.5kg ロース芯 67cm² BMSNo. 11

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	-8.779	1579	0.904
ロース芯	10.364	313	0.904
バラ厚	0.819	356	0.885
皮下脂肪	-0.669	213	0.909
推定歩留	2.684	65	0.915
脂肪交雑	2.512	21	0.921



平成30年9月第47回育種価評価から
順位は2,176頭中の順位

平安平

ひらやすひら



平成26年11月
基幹種雄牛指定

黒原5383 (82.9)

生年月日：平成21年5月22日

産地：三戸郡三戸町

繁殖者：大平 美智夫

安平

(宮崎・宮崎)

黒原2208

直検1.24

間検0.95 3.0

安福(宮崎)

(兵庫・美方)

黒原1255

きよふく

(岐阜・高山)

黒原568518

田安土井

(兵庫・美方)

かずよ

(兵庫・美方)

安福(岐阜)

(兵庫・美方)

きよしげ

(岐阜・高山)

平茂勝

(鹿児島・薩摩)

黒原2441

直検1.47

間検1.01 3.3

ふくしげかつ

(岩手・北上)

黒原1195112

やすふくとみ

(岩手・北上)

黒2009076

第20平茂

(鳥取・八頭)

ふくみ

(鹿児島・曾於)

安福165の9

(岐阜・高山)

とみおか

(岩手・胆沢)

「第1花園」の娘牛に交配する種雄牛として造成され、現場後代検定では、過去最高のBMSナンバー平均7.8と優れた成績を記録しました。

平成29年の秋から一般出荷が開始され、検定成績どおりの高い上物率を示しています。

推奨交配パターン

「第1花園」等の糸桜系雌牛

測定値	
体高	142.0
体長	165.4
胸囲	193.0
胸深	73.0
尻長	57.0
かん幅	48.0
体重	568.0

直接検定 1.11

現場検定(平均 n=16)

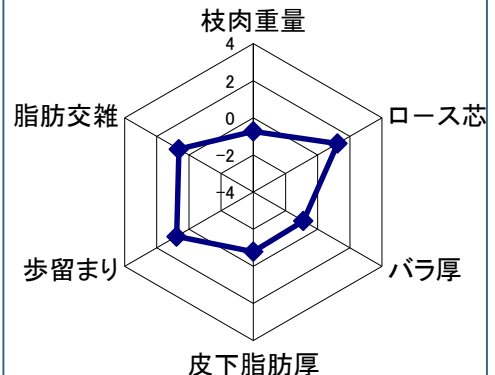
BMS 7.8 枝重 450kg



現場検定調査牛(平成26年6月18日)

めす(平安平×第1花園×寿高) 455.0kg 72cm² BMS12

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	19.407	765	0.983
ローズ芯	16.461	42	0.983
バラ厚	0.489	711	0.979
皮下脂肪	-0.072	1480	0.984
推定歩留	2.339	148	0.985
脂肪交雑	2.027	136	0.986



平成30年9月第47回育種価評価から
順位は2,176頭中の順位

第1花国

だいいちはなくに



黒12510 (82.8)

生年月日：平成5年5月28日

産地：青森県つがる市

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部

北国7の8

(島根・大田)

黒原1530

直検1.30

間検0.94 2.7

第7糸桜

(島根・仁多)

黒原65

直検1.38

間検1.02 3.4

きたぐに7

(島根・大田)

黒原81009

第14茂

(岡山・苫田)

第9いとざくら

(島根・仁多)

晴美

(島根・八頭)

もりなか

(島根・大田)

花桜

(島根・飯石)

黒原1637

直検1.21

間検0.87 2.6

糸花

(島根・飯石)

第5いとしげ

(島根・飯石)

糸光

(島根・飯石)

あおひろ

(島根・能義)

あおはな

(島根・能義)

黒1884989

第2あおひろ

(島根・能義)

黒原601491

測定値	
体高	153.5
体長	188.6
胸囲	221.0
胸深	84.5
尻長	62.5
かん幅	52.5
体重	826.0

直接検定	1.36	
間接検定	1.03	2.7
H8	43	72.8

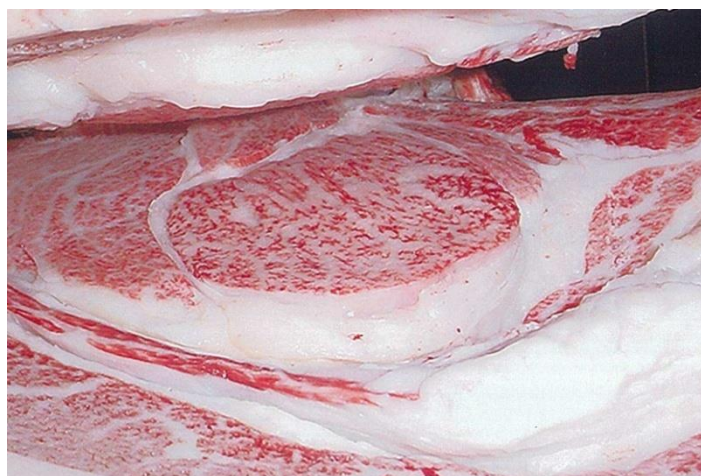
青森県を代表する質量兼備の種雄牛であり、本牛の産肉能力の高さは、全国規模の枝肉共例会での数々の受賞により証明済みです。

最近「安福久」の娘牛との相性の良さのほか、2代祖としても能力を発揮しています。

推奨交配パターン

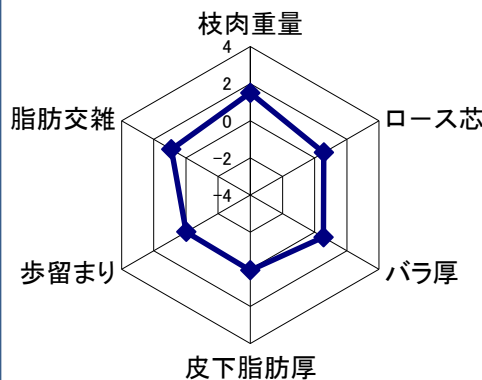
「安福久」等の兵庫系雌牛全般

「百合茂」等の気高系雌牛全般



第5回全農枝肉共励会名誉賞(平成15年7月11日)
去勢(第1花国×安福165の9×恒徳) 506kg BMS12

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	81.144	57	0.996
ロース芯	13.159	143	0.996
バラ厚	0.956	248	0.995
皮下脂肪	-0.324	853	0.996
推定歩留	1.672	479	0.996
脂肪交雑	2.163	78	0.996



平成30年9月第47回育種価評価から
順位は2,176頭中の順位

県外販売可

第2花国

だいにはなくに



平成20年2月
基幹種雄牛指定

「第1花国」の全妹「第5はなくに」に「第1花国」を交配し、いっそう糸桜系の近交係数を高めた種雄牛です。

第10回全国和牛能力共進会長崎大会において、第9区(去勢肥育牛の部)に産子2頭が出品され、2頭とも優等賞を獲得しています。

推奨交配パターン
兵庫系及び気高系雌牛全般

測定値	
体高	144.0
体長	171.4
胸囲	208.0
胸深	78.0
尻長	60.0
かん幅	52.0
体重	700.0



(株)肉牛新報社「肉牛ジャーナル」提供

平成25年度あおもりと牛枝肉共励会最優秀賞(平成25年11月13日)
去勢(第2花国×平茂勝×北国7の8) 548kg BMS12

黒13847(82.9)

生年月日：平成14年8月18日

産地：青森県つがる市

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部

第1花国

(青森・つが)

黒12510

直検1.36

間検1.03 2.7

北国7の8

(島根・大田)

黒原1530

直検1.30

間検0.94 2.7

あおはな

(島根・能義)

黒1884989

第7糸桜

(島根・仁多)

きたぐに7

(島根・大田)

花桜

(島根・飯石)

第2あおひろ

(島根・能義)

北国7の8

(島根・大田)

黒原1530

直検1.30

間検0.94 2.7

あおはな

(島根・能義)

黒1884989

第7糸桜

(島根・仁多)

きたぐに7

(島根・大田)

花桜

(島根・飯石)

第2あおひろ

(島根・能義)

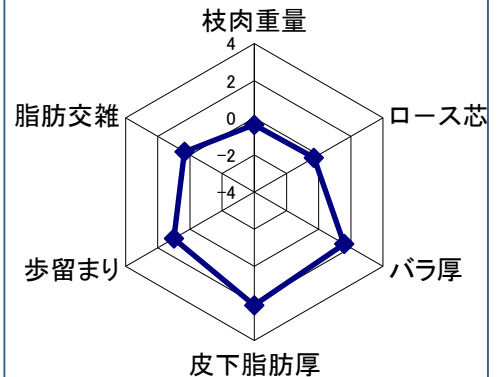
第5はなくに

(青森・つが)

黒2025076

直接検定 1.17
現場検定(平均 n=14)
BMS 7.1 枝重 396kg

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	29.13	578	0.994
ロース芯	8.870	466	0.994
バラ厚	1.295	72	0.993
皮下脂肪	-0.932	62	0.995
推定歩留	2.532	100	0.995
脂肪交雑	1.890	200	0.995



平成30年9月第47回育種価評価から
順位は2,176頭中の順位

優福栄

ゆうふくさかえ



平成24年3月
基幹種雄牛指定

「第1花国」娘牛との交配を意識して
作出した三代兵庫系の種雄牛です。

平成27年度から一般の枝肉出荷が開始され、安定した上物率から本県の兵庫系のエースとして評価されましたが、すでに本牛は死亡しているため、現在、後継牛の作出を行っています。

推奨交配パターン

(肥育用)「第1花国」の娘牛
(種牛用) 兵庫及び気高系雌牛

測定値	
体高	149.0
体長	171.6
胸囲	215.0
胸深	79.0
尻長	63.0
かん幅	51.0
体重	699.0



(株)肉牛新報社「肉牛ジャーナル」提供

第13回JAみやぎ登米「仙台牛」枝肉共進会(平成28年2月10日)
チャンピオン賞 去勢(優福栄×安福久×福華1) 528kg 112cm² BMS12

黒14419 (81.9)

生年月日:平成18年12月17日

産地:三戸郡田子町

繁殖者:青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良資源部

福栄

(鳥取・鳥取)
黒原2886
直検1.31
間検0.92 2.6

安福(岐阜)

(兵庫・美方)
黒原930
間検0.83 4.1

安谷土井

(兵庫・美方)
ちずる
(兵庫・美方)

菊照土井

(兵庫・美方)
てつや
(兵庫・美方)

はるみ

(兵庫・美方)
黒原649705

丸優

(兵庫・美方)
黒原1003
直検1.21

菊安土井

(兵庫・美方)
すずよし
(兵庫・美方)

金福

(兵庫・美方)
第2さわか
第2さわか3
(青森・下北)

さわゆう

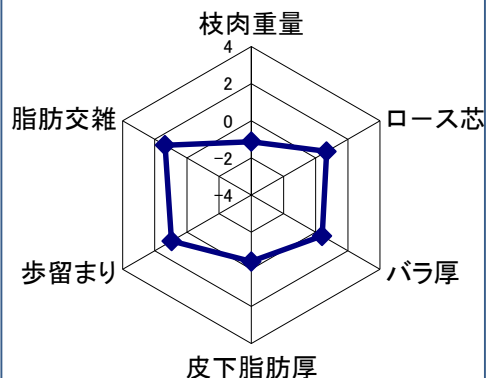
(青森・下北)
黒原933908

第2さわか

(青森・下北)
黒1827582

直接検定 1.07
現場検定(平均 n=23)
BMS 6.7 枝重 447kg

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	8.363	1105	0.992
ロース芯	13.721	114	0.992
バラ厚	0.910	298	0.992
皮下脂肪	-0.184	1208	0.992
推定歩留	2.501	104	0.993
脂肪交雑	2.380	36	0.993



平成30年9月第47回育種価評価から
順位は2,176頭中の順位

県外販売可

光 茂

みつしげ

黒原5163 (83.6)

生年月日：平成19年8月15日

産 地：十和田市

繁 殖 者：沢目 政光



平茂勝

(鹿兒・薩摩)

黒原2441

直検1.47

間検1.01 3.3

第20平茂

(鳥取・八頭)

黒原287

間検0.81 3.6

ふくみ

(鹿兒・曾於)

黒原301048

気高

(鳥取・鳥取)

第13ひらしげ

(鳥取・鳥取)

宝勝

(鹿兒・鹿屋)

はつこ

(鹿兒・曾於)

北国7の8

(島根・大田)

黒原1530

直検1.30

間検0.94 2.7

第7糸桜

(島根・仁多)

きたぐに7

(島根・大田)

安福165の9

(岐阜・高山)

かずふく

(青森・十和)

黒原1063235

ふくこ2

(青森・十和)

黒原946211

かづたま

(岩手・奥州)

平成25年2月
基幹種雄牛指定

現場後代検定では安定した産肉能力を発揮し、特に枝肉重量の育種価において優れた能力を示しています。

温厚な性質から飼いやすいのも特徴であり、一般出荷の枝肉成績も上々の評価です。

測定値	
体高	148.2
体長	184.0
胸囲	218.0
胸深	79.0
尻長	61.0
かん幅	55.0
体重	789.0

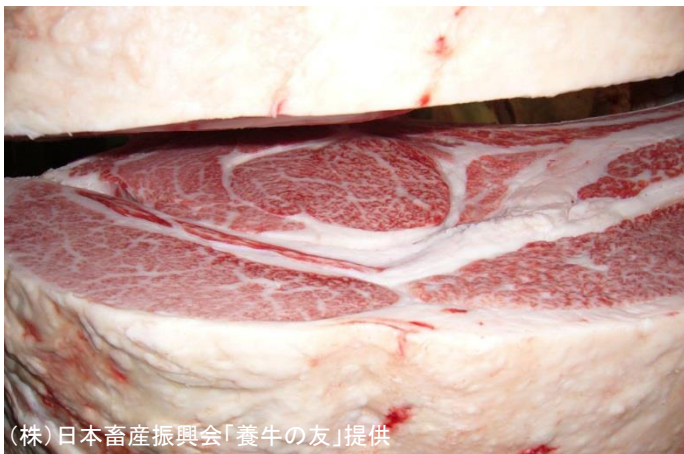
直接検定 1.29

現場検定(平均 n=17)

BMS 6.0 枝重 469kg

推奨交配パターン

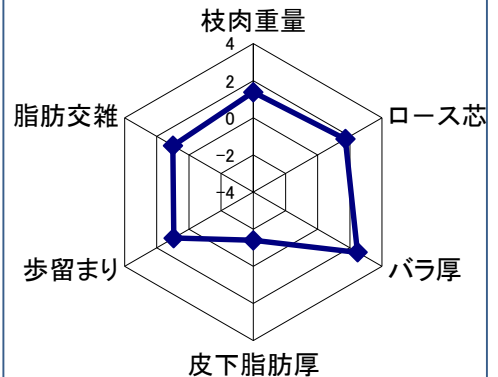
「第1花国」及び兵庫系の雌牛



(株)日本畜産振興会「養牛の友」提供

平成28年度あおもり和牛枝肉共進会(平成28年9月8日)
最優秀賞 去勢(光茂×安福久×平茂勝)541kg 88cm² BMS12

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	77.851	71	0.977
ロース芯	18.852	19	0.977
バラ厚	1.587	18	0.971
皮下脂肪	0.110	1879	0.978
推定歩留	2.490	110	0.980
脂肪交雑	2.204	68	0.981



平成30年9月第47回育種価評価から
順位は2,176頭中の順位



平成30年度青森県畜産共進会チャンピオン牛
(平成30年8月25日 青森県家畜市場)

編集・発行
青森県農林水産部畜産課